



本鳳瑞 總集篇

ADULT ONLY

And Then Nothing	003~066
Expainful	069~136
Turned Inside-out	139~224

Ingredients: Zuihou, Ryuujou, Houshou, Netorare, Immoral, Madness, Outdoor, Hardcore, Dark, Cheating, "Pure Love"



AND THEN
NOTHING



あーっ

てーとくっ

何だか今日は……
激しいねっ……!

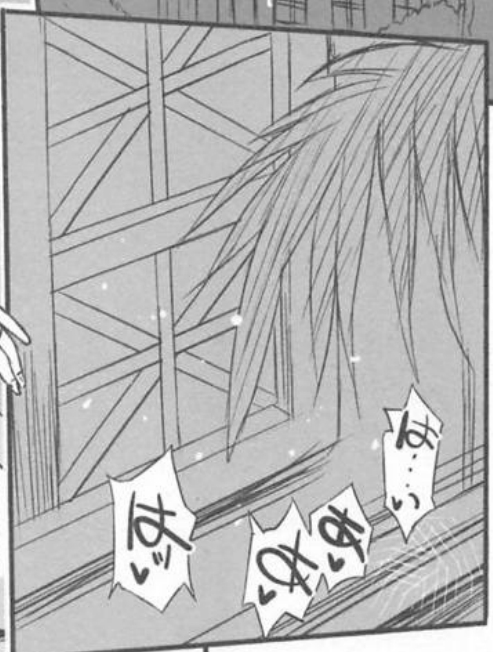
あーっ

あーっ

メーキャップ

面倒な執務が一つ
片付いたからな

これで暫くは
二人でゆっくり
できるぞ……



あーっ

あーっ

あーっ



勿論……!
瑞鳳っ、
そろそろっ……

いいよっ……
全部出してね



じゃ、遠出とかも
できちゃったり
する?



良かった……

あーっ

あーっ

あーっ



明日は完了の報告に
本部に出かけるから
……お前もどうだ？



私はいいかな
元帥さん 苦手だし

ははっ……厳しいが
いい人だよ

その厳しすぎるのが
苦手なの



帰ってきたら
美味しいもの
食べに連れてってねっ？

はい、本官は
早期撤退の後、
その任務を
遂行致します

またそそんな
言い方して……



それじゃ、その間
お留守番しちやいますか



と、言っても
平和なのは
いいんだけど
ヒマなのよ
ねえ……



提督がいけないから
演習もできないし

誰か誘って
散歩でもしようかな



……



って龍驤！？
昼間から何して……

それに関係者じゃない人
鎮守府に入れちゃダメでしょ！

……

あら、何の昔っ





それで今日は
会えるのかな？
その……
瑞鳳って子



どうなの？
龍驥君



勿論やで……っ
だからっ

後生やからっ……

えっ、私……？



いくら彼氏さん
だからってそんな事……

龍驥つては気が
抜けすぎじゃないのっ？



解った
解った
お礼はちゃんと
してあげないとね

あ……はあっ……



次、思いっきり
突くからそれで
いくんだよ

こ、この後どういう
反応すればいいのよお……



すごいもの
見ちゃった……

あ……
あ……
あ……



……
どしたん
づほ

どうしよう……
と、とりあえず
何か言わないと
まずいわねえ……



こちら、最近本土から来て
この島で和食屋
始めた人なんやけど

どうも、初めまして
噂は龍驥君から
聞いてますよ



何言うとるん……
色ボケし過ぎや

えっ……



あの、龍驥の
彼氏さん……ですか？

はあ？



— 帰ったよ、鳳翔



あら、お帰りなさい
……あなた

ええっ……？

えっ……その……
おっけい……は……

あれが奥さんの
鳳翔さん、結構昔
艦娘だったんだってさ



なんか……
私、早とちり
しちゃったみたいねえ

龍驥……と、その……
シてたのって……

ホントな……
しゃっきりせや



この島を
平和にしてくれた
お礼としては
なんだけど……
ご馳走させて頂戴

そういう事ね
でも本題はこっち

わ、ボン酒やん！
久々に見たわ



昔、あなたの提督には
お世話になった事も
あるのよ？

ああ……それで
旦那さんが
挨拶に……



初めまして、
妻の鳳翔です
話は聞いていたわ

でもこの人が……



ほ、本当に
こついのつて
あるんだ……

オトナの
関係ってヤツ
なのかな……



コレ、私が一番緊張
してるじゃない……

あ、あの……
夜には帰らないと
いけないんで
そんなには……

そうだったのか、
連れて来て
悪い事をしたね

勿論、構わないわ
一杯だけでも
いいから、ね？

解りました……

なんで、龍驥と
この人は平気な顔で
いられるのよお……

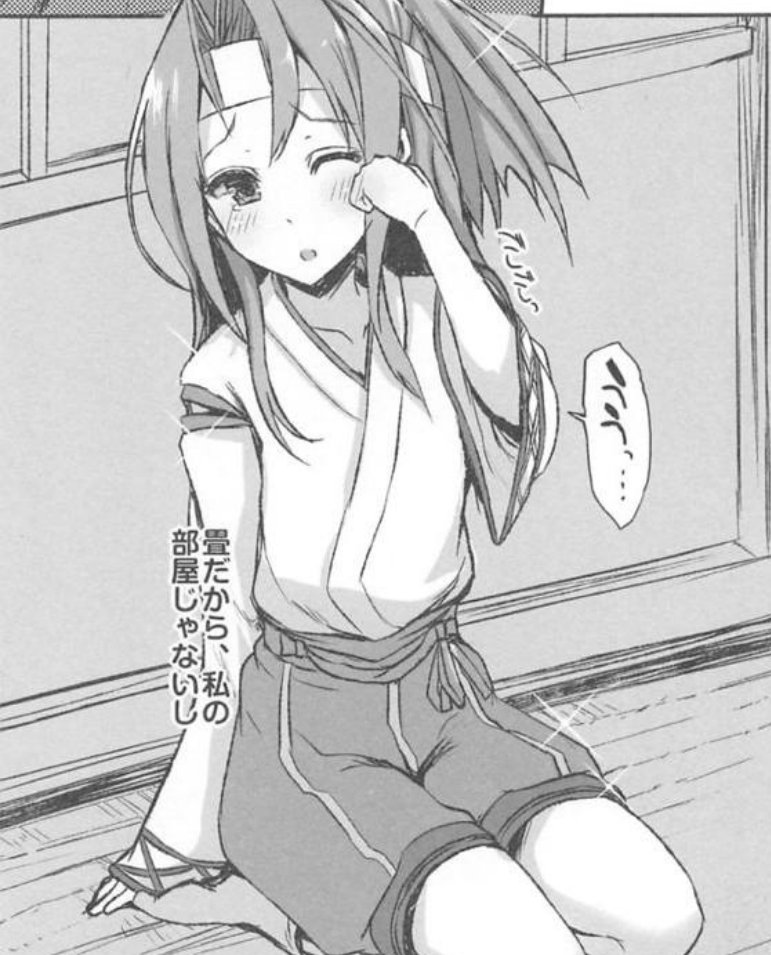


ええい、とにかく
一杯飲んでおつまみ食べて
早期撤退するんだから……!

お、イける口かね
瑞鳳君は

これは楽しく
なりそうだ

あ、美味しい……



畳だから、私の
部屋じゃないし

……



あれ……今、何時
つていうか
ここどこかな……

……
……

おお……目が
覚めた様だね



なっ、何っ
何なのよおっ……



やっと倒れたと
思ったらそれから
起きるまでが長いし

艦娘相手は
分量が難しいね

えっ……



龍驥君、
どうだ？

なっ……何これっ
また龍驥が……



少し待っていてくれ
こっちを終わらせるから



ウチ、もうダメっ……！
ダメになっちゃ……！

ちよっと違うな……
龍驥君はとっくにダメに
なってたんだよ



ほらっ、ほら……
これでどうだい？
瑞鳳君にも
見てもらおう

つわっ……
滅茶苦茶にされて……
呻ら……

女の子って、あんな声
出ちゃうの……っ？



僕の女になった
時点だね



そうね

怖いっ……
この人、何
考えてるのよお……



こここれ
絶対におかしいわ……

さて、と……
どうしようかな
どう思う鳳翔？



えっ……!?
鳳翔さんどうしてっ

フフッ、
楽しみだわ……



甘くて可愛い
女の子の匂い……

まだ混ぜ物が
効いてますから抵抗は
余りできないんじや
ないかしら



や、やめて
下さいッ!

何っ、何なのお……っ!!
鳳翔さんまでっ……
みんな、おかしく
なってるのっ?!





ひっ……は
離して……

そう言われると
余計に……ね

それじゃ、失礼して……
瑞鳳君はケツコン済み
だったね

うそっ、うそっうそっ！
提督以外の男の人の手が……
私の身体に……

カサッ

グッ

カサッ

グッ



ちよつとお酒飲んで
おつまみ食べた
だけなのにいつ……

身体がまだ
鈍い内に脱がして
おかないとね……

カサッ



……き、気持ち悪い
何なのよお……

提督とは経験が
あるだろうから……
龍驤君より楽そうだ

カサッ

いきなり当たり前
みたいに触って……

グッ

カサッ

こんな事になるなんて
ウソでしょ……

本当ね……
少し羨ましいわ

これで
歴戦の勇者
なんだから
驚くしかないよ

逃げないとか
私、この人に……
無理やりっ……
犯されちゃうっ……

凄くキレイな
肌だ……

こっちの反応も
いいねえ
触った瞬間に
まわり付いて
柔らかく締める様な
動きだ……

提督に愛されたの
身体が覚えている
のかな？

やたら……
触られちゃってるよぉ

多分、昨日も
愛されてるね

あら、
お盛んなのね

そうみたいだ……
可愛い顔でする事は
している様だ

何でそんな事が……
解るのっ……

ど、どうして……
こんな事をするのっ……

今やめる……なら
黙っておきますから……

それは
できないわ……

な、何を言ってる……

この人に
愛されれば
解るわ……

鳳翔、啜えて
濡らしてくれ

これは

あなたに女の悦びを
ちやあんと
教えてあげる為に
必要な事なの

っ！あんな顔の
近くに男の人の……



食べたい……ロリ

あんな事が
できるなんて……

アハハ

アハハ

アハハ

アハハ



アハハ

アハハ

アハハ

アハハ



鳳翔、もういいよ
それ以上されたら
保たなくなりそうだ

アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

律儀な人ね

力が……せんせん
入らないっ……!



あなた、一晩中何度も
出来るじゃないですか……

今日はいいかな……
約束がある様だから
夜の内には
帰してあげたいからね

熱だけが異様に
伝わってきて...

1154!!

1154!!

こんな事...!!

思ったより
全然スムーズに
根元まで...

1154!!

ほら、瑞鳳君
入っていくよ

つと...
これはこれは

1154!!

驚いた、提督も
相当良いモノを
持っている
みたいだね

1154!!

私...
悪い事なんか
なんて...
なんて...

自信、
なくしました？

これから
挽回するよ

ごんな
きつい...!!

1154!!

1154!!

1154!!

提督と違つてっ……
無理やり身体を
潰すみたいにな
揺すつてきて……っ！

近くで魚雷が
爆発した時みたい
にお腹が震えるっ

まあ、コレなら
最初から
強めにしても
大丈夫そうだね

ほら、どうだい？

こういうのは
あまり慣れてない
みたいだね

とても優しく
抱かれてる様だ

瑞鳳君の王子様は
扱い方も解ってるね

イヤっ、
いやあっ！

こんなに小さくて
可愛らしいんだ……

身体っ
壊されちゃうっ……

声が詰まっつ
変にっ……

それは
当然だろうね



身体も気持ちも
根元の方がひどく
悲鳴を上げて

こんなに最初から
馴染むなんて……
こっちが
瑞鳳くんより先に
夢中になりそうだ

それじゃ、このまま
奥に思いつきり
出すよ?

首が絞められてる
みたいに苦しんでっ
息が詰まる……



それだけは
絶対ダメっ!
私は提督のっ
お嫁さん
なのっ……

アフタービルも
あるし、大丈夫だよ



嫌あっ！

ドッ
ズッ
ドッ
ズッ

そらっ！

ドッ
ズッ
ドッ
ズッ



冗談だよ、
そこまで
嫌がる事なら
しないさ

こんなのっ、
遊ばれてるっ...

あ...？

...私っ...
オモチャにされてっ...



...それじゃ、
今日の所はコレ位にして

あなた、一応...

ああ、そうだ



お帰り、ちよっと
遅かったんじゃないか

ガ
チ
ャ

ごめんね提督
ちよっと
お誘いがあったね

龍驤から和食の
お店やってる鳳翔さんを
紹介されてね……
提督の知り合いだって



ああ、鳳翔か……
元気にしてたか？

うん

……そうか



コ
ッ

コ
ッ
コ
ッ

解った

ご飯はそこで
ご馳走になったから
お外で食べるのは
明日にしましょ



バシては
ないよね……

タタ

今日でおしまい
だったら良かったのよ……

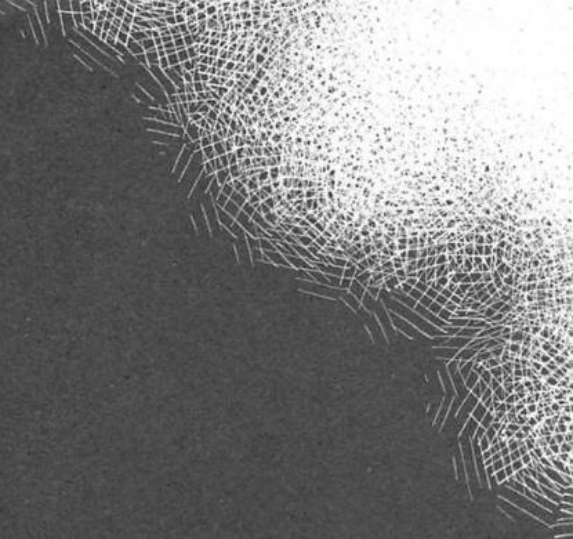


私……どうすれば
いいのよお……

……そうね、
二週間で許してあげる



また来て頂戴
……いいわね



AND THEN NOTHING





1-2

本当は落ち着くまで待とうと思ってたんだが

皆が早くやれ、とうるさいし……

貯えもそこまで無いから色々使ったら会場は食堂位しか選択肢がなあ……

ううん……いいの

提督も良く隠し通せたね……

ずっと秘書艦だったのに全然気付かなかった……

皆の協力に感謝だ艦娘より内偵に向いてるかもな

……それでどうだ瑞鳳？
驚いたか……

もう、色々突然すぎて解らないけど……

でも……
本当に、ありがとね





やめー……

その話は
やめてっ……

——その後は
最前線から引かされて
少数の艦娘とこの島を守る
任務に就いてるみたい



長年、前線で貢献した
みたいだから
上層部の心遣いね

こんな……
されちゃってる時にっ

なるほどね

思い出したく
ないよあつ……





それなら暇な時間も多そうだし、僕にも都合だ

解ったのはそれ位かな？

ええ、この娘から聞いた事と、昔の経験を照らし合わせてもこれ位が限界ですね

十分だよ、鳳翔



そもそも聞き出した情報があるわけじゃないから

目の前の瑞鳳君に集中するのが一番の様だ

じゃあ、なんでこんな事するのよあつ



後ろから突かれるといい反応をする……僕の顔が見えない分繋がってる所に集中できるのかな？

後ろからでも大分身体が開いてきた様だね



提督に抱かれてると
身体が勘違い
してるのかもね

ちがつ...
提督はっ...
こんな事したり
しないわよっ...!

まだ喋る余裕が
あるのか...
凄い体力だね

何度も何度も
犯されるのは
耐えられるけどっ



風翔でもここまで
保つかな?
...益々気に入った

ただ、今日の所は
これ位にしようか

提督の話っ...
されるのイヤあっ...



最後だよっ……
そらっ!

カッ

アッ……

怖いっ……

アッ……

避好臭越じに
熱が伝わってきた……
お腹に熱いのが来てるのに

身体に
寒気が走って
気持ち悪いっ……

アッ アッ

けどっ……
今日も終わった……

アッ

アッ





明日は提督に
会わせて
くれるんだっけ？

あー…

私は大丈夫…

は…

あと、十日間だけ
なんだから…

楽しみだね…
なんと言っても—



これは一種の
惚気ですか

は…

え、あ…
いやそういうつもりは
無かったんだが



—あなたは
この島の英雄の
ですからねえ

そんな事はないよ
たまたま運が
向いただけさ

また謙遜を



いやいや、
いいですよ

それに、瑞鳳さんは
本当に優秀ですから…
物覚えが本当にいい

ウチの鳳翔も
感心してましたよ

……そうですか



その優秀な娘に任せて
僕は気長に待ってた、
……それだけだ

こんなに楽な
仕事はないな

……もう



カカ...
カカ...

ここが瑞鳳君の
部屋か.....

大事にされている割に、
こじんまりとした
部屋だね

と、当然よ.....
私事だけで部下を
優遇とかする様な
人じゃないんだから



長い時間こんな
えげつない玩具を
啜えてたら、
当たり前前か



ふむ、
そういうものか

今日は今までより
昂ぶってるね

それだけじゃ、
なさそうだけど

私の部屋に.....
提督以外の
男の人がいる.....



あ.....
カカ

酷い違和感.....



そうじゃなきゃ
最初からこんな
ならないよ

イヤらしい
女の子だね……

瑞鳳君、
興奮したんだろう？
提督に隠れて
玩具を楽しんで

その上別の男に
自分の部屋で
抱かれる……

そんな事……
とにかく私は
バレたくない



大丈夫……
解るよ、僕も凄く
興奮してるからね

こんな、私の事
好き勝手言ってる……

何なのよあつ



これからは
もうちょっと
凝った事をしよ



その水着
似合ってるね……

司令官に
水着でも見せに
行ったんじゃない？

ま、見慣れてる
だろうけど

それから……
場所も時間も
選ばなくなってきた

いいからっ、
早く済ませて……



おーい敷波
づぼづぼは
どこ行った？

あれ、
知らないけど



一日に一度は
この男の人に
抱かれ続けた

いやあ、この身体を
好きにできる提督が
羨ましいよ

まー、下手に口出しして
邪魔したら悪いしなあ！



おっ、急に
縮まってっ……！

折角見せるなら
もっとバリエーション
あつていいと思うけどね



私達が気にする
事じゃないし
まあ、いいんだけどさ

ちゃんと外に
出してっ……

瑞鳳君には
こんな隠し玉が
あつたのか……



こんな暑い日にランニングなんてしたら身体に悪いよ？

瑞鳳くん

それ以外でも偶然ばったり出会った時でも家に連れ込まれて



こういう事の方が悪いわよおっ!!



ああ……なるほどね



それじゃ、運動を手伝ってあげないかね

そのまま何度も何度も……



それに……

演習だけじゃ……身体がなまっちゃうでしょっ

勿論提督にも
求められている...

身体の感触で
バシたりはしないか
不安だけど...

私もっ...
凄く...

提督とのエッチは
前と変わらないうし
気持ちいいよ...

とてせ
安心する...

気持ちいいよっ
瑞鳳っ!

そろそろ
行くよっ...

5. 46回...



カチンカチン

カチン

カチン

いあ...
いやし...



だ、大丈夫か
瑞鳳...?



こんなう...
すごい

ぐっ...
凄い締まって



また……こんな
ヘンタイみたいな
事を考えてっ……



瑞鳳君
直接外の空気に
触れながら、
というのでもいいだろう？



こんな事……
したって何も
変わらないからっ……



瑞鳳君もノって
来たって所かな

成果って……



これは昨日と
反応が違うね



成果が出てきた
感じだ……



そんな事つ...
あるわけないよあつ...

ア...

...提督にとても
気持ちいいのを
教えられただろう
こんな風につ...



な、なんでっ...

やっぱり、奥で
感じてるね

あれだけ何度も
僕が責めたんだ
当然さ...

トドメに瑞鳳君が
慕っている
提督に愛されて

気分も良くなって
身体のスィッチが
入っちゃった
みたいだね...



僕とだってそこに
持っていける

どうだい？

それを一度身体が
覚えちゃうと……
簡単に……



や、やだっ
提督とした
あの時と同じ感じ……

前とは比べ物
ならない位
いいだろう？



これっ……
いやあっ……

また、頭が
コンコンと
なってる……

瑞鳳くん、落ち着いて
受け入れれば怖い事は
何も無いからね



僕となら、
とても気持ちいい事
なの解る筈だ

びしょ
びしょ
びしょ



ほら、お腹を
意識して……



そろそろだね……
大丈夫、安心して



同じだけどつ……
凄く大きいのがっ……

それっ!



ほらちゃん...
ほらちゃん.....

ほらちゃん

ほらちゃん



ほらちゃん

私...こんなに
弱かったのかな...

全然逆らえなかった...

ほら、ちゃんと
気持ちよくなれた
だろう？

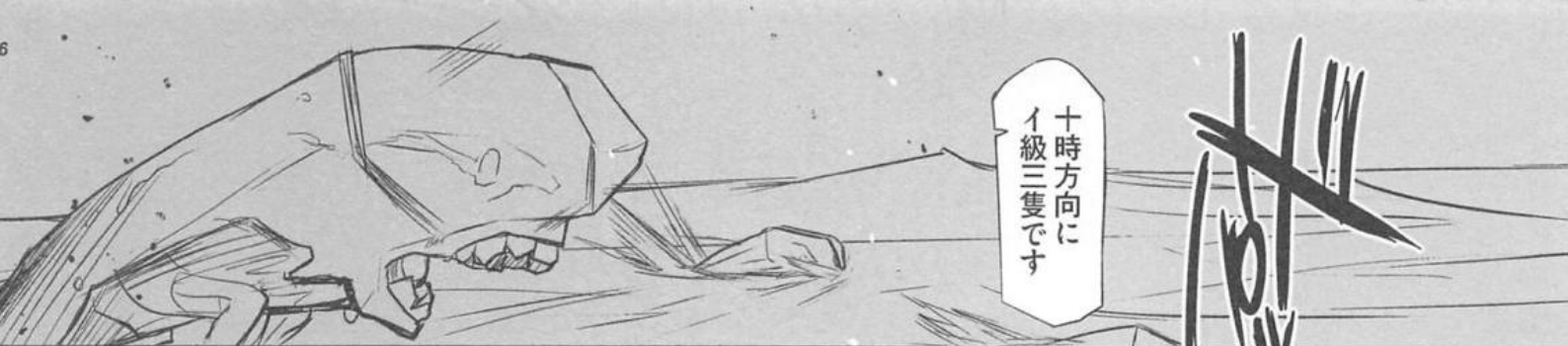


偉いよ、
瑞鳳君

明日からも
これをたっぷり
楽しもう



23





今日が最終日……

執務室、お風呂
色々な場所で
散々されて

どっぴりっ身体なのか
イヤと言っほど
教えられちゃった……

あーあ
あーあ
あーあ

でも、それも
今日で終わり……

終わりなんだから……





えん!

瑞鳳!

おい、づほ

づほ、そっち
行ったぞ……

瑞鳳!



ここまでお前が
やられたのは
久しぶりだな……

少し懐かしい位だ

提督、
ごめんなさい……

良かった
……いや、お前が
無事ならいいよ



……

……



入渠終わったら
気晴らしにどっか
出かけよう、なか?

……?



近くで見ると
……思ったより
立派ねえ

最終日だから
奮発してみたんだけど
どうかな、瑞鳳君？

この島に僕が来たり、
リゾートホテルが建つ……
君達の功績だよ

本当なら君や提督は
泊りすれば無料でだって
泊まれるだろう

今は素性がバレたら
まずいだろうけどね

やめてよあつ……

渡した男の人に
抱かれる為に
こんな所に
来るなんて……

そういう格好も
魅力的だよ

かまゆ

まじ

まじ

たむ

たむ



最初の時、
僕が龍驥君を抱いていたの
見てただろう？

……そろそろ
瑞鳳君も自覚が
あるんじゃないかな

何……？

身体が……
熱い……

その二人に
簡単に付いてきて
鳳翔と会って、
僕らの関係に気付いても



断りきれないで
気付いたら僕と
こうなってる

無警戒だね

答えなくてもいいよ……
君自身より僕の方が
ちゃんと解ってるからね

ああ



私、そつなの……
……かなあつ……

まじ……自信が
ないよあ……



……というより
この島の暮らしが
退屈過ぎて

僕らの関係が
刺激的な見世物に
見えたかな？

そう、



嫌かな？

私っ…た、助けっの
凄くドキドキっ……

今日はゴム無しで
愛し合おう

はっ

や、やだっ……

これで瑞鳳君とは
最後なんだ、

はっ



これまでだって
してきた事だからね
奥の奥まで直接触って
隅々まで可愛がって……

ぐずぐずになっても
何度だって……

ほら、言ってるだけで
身体が奥から
震えてきてるよ



もちろん外に
射精すから
安心して

いいね？

提督っ……
てーっ……



……ってあら……



すみません、
まだ開店前で……



……後で来る、とは
聞いてますけど

ここで待ってて
下さいな



お久しぶりです
……提督
元気してましたか？



あ、ああ……
……その、瑞鳳
来てないか？
あら、今日はまだ
いらしてませんよ



何か予定が
ある様でしたよ
そうか……
提督にも秘密
なんてどんな事
なんでしょうね
……



瑞鳳君が
こんな水着を
持ってたなんて

提督の為かな？

……きつと
盛り上がった
だろうね

そんな事
できるわけ……



私にできるわけ
なかった……
提督はそういう人
じゃないから……

早く、
終わらせてねっ……
最後だから！

それは勿体無いよ、
最後までいゆつくり
味わってもいいんじゃないのかな……



こんな風に……

ああ……
入ってくるっ



ゆつくり、
形を合わせる
みたいだ

私、提督じゃない
男の人を……
受け入れちゃって

こんなのっ... 私っ!!!

もう少しで全部
入るよ...
最後の一押しだ



どうしたのかな
瑞鳳君?

こんなのっ... 私っ!!!

なんで
こんなに...

気持ち
いいのよお...



その...大きさを 変わらないのに

とても 簡単な事さ

提督よりの... 激しくって... ひどいのよ

瑞鳳君は 提督じゃない男に 抱かれてるから、 尚更気持ちいいんだろう？

キュッ...

キュッ

グッ

グッ

あー

あー

あー

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

そんな事つ...
ウツよおつ!

君は危ない事が
大好きなんだ！

悪い子だねえ
提督というものが
ありながら

こんなに
楽しんで

奥までっ...
串刺しにされるっ...
苦しいいっ!

おれは...
提督...
おれは...
おれは...



キッキッキッ...

.....でもっ
本当に

原稿がSSSS

こんな風に.....っ!

こんなにやうに
格好して.....
凄く興奮して.....

ほら、もっと
激しくしても
いいんだよ?

勢いが
ついたらねえ

私は提督の
為のものなのに.....

身体が.....せ
止まらないうち



私、こんな
いけない事！
覚えちゃった！



瑞鳳君も
イイ顔に
なってきたね



大丈夫……



そろそろ……
瑞鳳君、いいね……？



もうだめっ……



キスまでされて
抱え込まれて

この男の人のが……
私に全部
注ぎ込まれちゃう

許して……！



女子が溶ける!!!

てーとんっ……
提督っ!

溶ける!!!

あ、熱いっ……

ほら、どんどん
射精してるのが
解るだろう?



絶対ダメなのが
沢山流れ込んで

奥の奥の
場所までっ……



瑞鳳君の望み通りだろ？

赤ちゃんの素が入り込んでるっ……

ああもう…… 暴れないでくれよ
もう、手遅れだし
ウツッ……
こんなにつ……

提督じゃない人のが…… 中に注ぎ込まれて



キモチイイ！

気持ちいいっ……

何……これっ？
こんなに気持ちいいのっ



よく見るんだ たっぷり注がれてる所をね



……何せ……
……おんなじ……

こんなに
気持ちよく
なつたのは
初めてかな？

頭まで
登ってきて
こわい……



ははっ！瑞鳳君
凄いヨがりっぷりだね

すごい量っ……
出てるっ……
熱くて……
ダメになる！



あたまっ……
チカチカしてっ……

止まらないっ……

いやらしい子に
相應しく……

知らないのが
身体の奥から
来てるっ……

ダメっ！

いやらしく
イってごらん
瑞鳳君

あぜんぶん
ぶんぶん……



身体が全部
熱いよお……

聞えてない、か
拾い物だな、
これは……

クラクラしてっ……
おかしくなる……



見立て通り……
やっぱり素質は
十分だね



瑞鳳君、もう夜だよ……？

最後には自分から求めて……

何も解らなくな……



お疲れ様——
瑞鳳君

ン……

ン……

ゴゴゴ

ゴゴゴ



もつと僕に
依存させたかったけど
良く頑張ったね

瑞鳳君は確実に
提督の事を
愛してる

…変な話だが
保障するよ

けれど、君を本当に
女にしたのは僕だ

……それは
忘れないで欲しいね

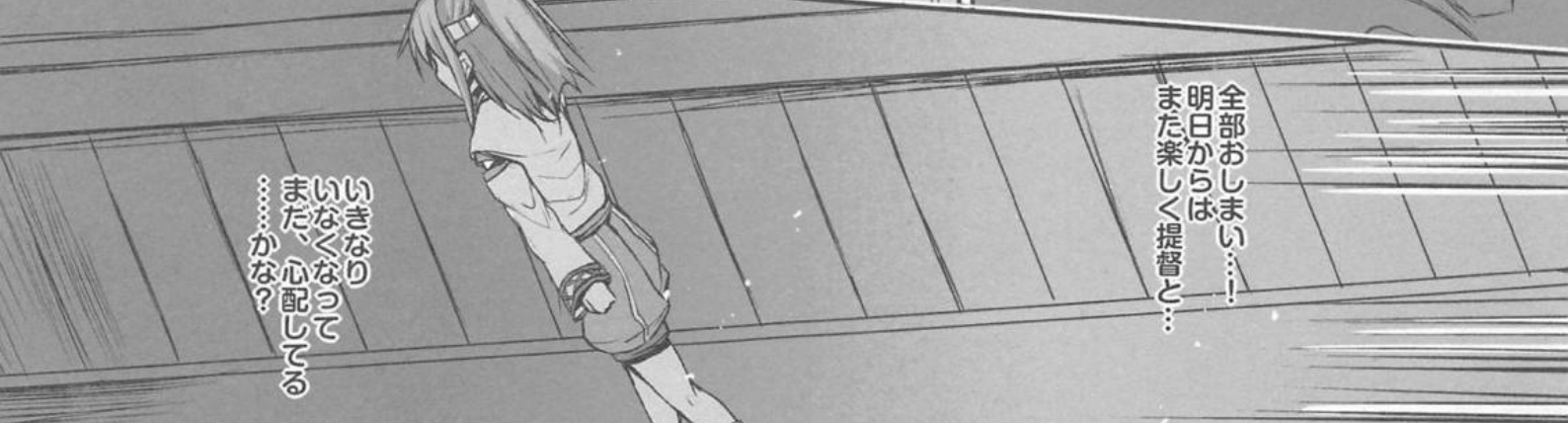


いつでも
呼んでくれて
構わないからね

それじゃ、
さようなら



薬も飲んだし
これで、大丈夫よね



全部おしまい……
明日からは
また楽しく提督と……

いきなり
いなくなつて
まだ、心配してる
……かな？



まず、謝らないと

ケツコンカッコカリ、
でしたか？

私達の頃には
そんなもの
なくて……

けれど
悩む事じゃ……
なかったですね……

こんなに
簡単な事を

ああ



その時、私は
最悪のものを
見た



だけど、あの時と
同じように
ドキドキして……

鳳翔……

提督、もっと
触って下さい……



身体が……
震えた気がした

あ

HERE TO FALL

ADULT ONLY







おやおや……?
やあ、瑞鳳君

ちよつと用事が
あつてね……



急だけど
今日の秘書艦
変わって
欲しいんだけど……

んー、何で?



謝らせてくれ、
それと何か相談でも……

この男本当に……

体調は大丈夫かい?
昨日はちよつと
自分でもやりすぎた
思ってるよ



最低よっ……



……瑞鳳君?
そんな事
じゃない……

いや……ん?

貴方が……
けしかけたんでしょ!
提督につ!

んー、んー



それは僕はあ
関係ないなあ

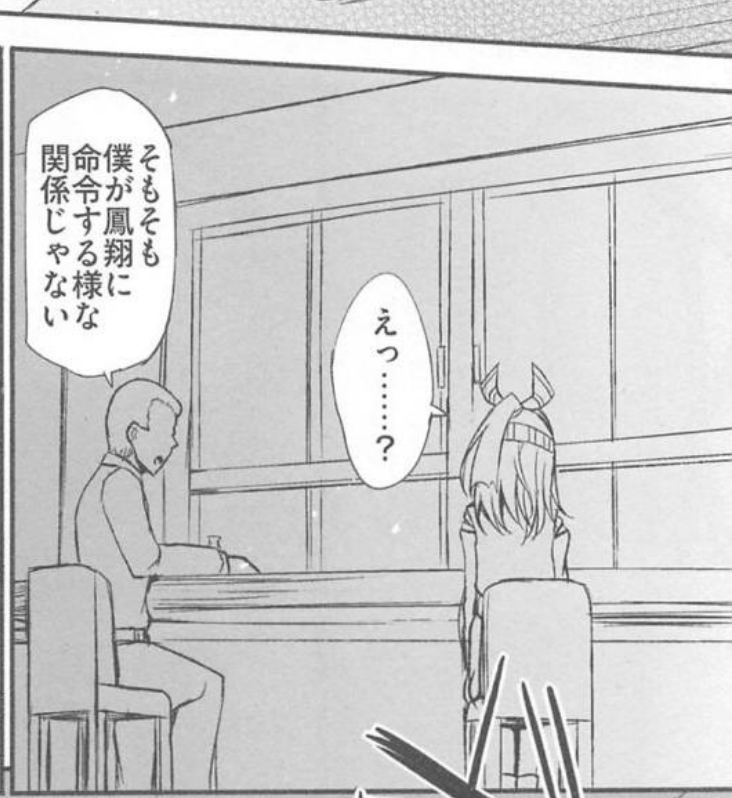


成る程、
そんな事がね……
ハッキリ言うけど



お互いに
愛し合ってるからね
基本的に自由にだから

彼女が勝手に
した事だよ
ツ……!



そもそも
僕が鳳翔に
命令する様な
関係じゃない

えっ……？



そういう事なら、
その提督だって
怪しいじゃないか

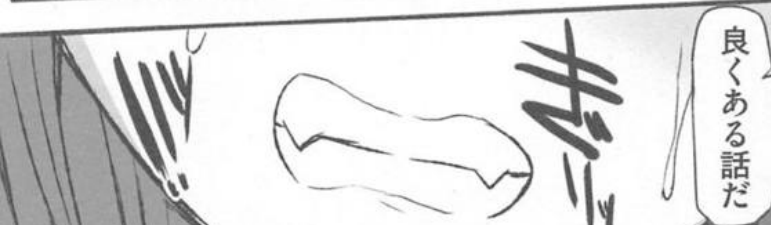
ウチの鳳翔と
知り合ってた
みたいだし

昔はそういう
関係だったのが
燃え上がった……
みたいな事だっ



ふざけないで！
そんなワケないでしょ！

アナタじゃなきや
誰が……



良くある話だ



瑞鳳君だっ
楽しんでんだし…

や、やだっ
腕捕まれて…



提督は
そんな事っ…!!

しない、
なんて言うのかな?



そこに顔を
突っ込んだのは
瑞鳳君だろうか?

あ…



違うわよっ!
離してっ!!

あなたが無理やり
あんな事っ…!!
私にしなければっ!



何を勝手に…
私そんな事
考えてないっ

自分も当事者に
なるとは思っ
てなかった様
だけどね

ち、ちがうわよお…



その割には
抵抗もないし

それはっ！
貴方がっ……



本当かなあ
ただ単に僕に
慰めて欲しいだけ
じゃないのかな？

そんなわけ
ないでしょっ！



……ん？僕が
何をしたのかな？

はつきり
言ってみなよ
瑞鳳君



まだまだ
昨日の事は鮮烈に
覚えてるだろうからね

身体が、
抵抗できないん
だろう？

……ああっ



だめっ……
これ以上……
思い出したら

知らないっ……

ハハッ……
君は本当に
可愛いなあ

僕も流石に鳳翔に裏切られると気分が落ちるね

そういうワケだから瑞鳳君の身体で僕も慰めてもらおうかな？

あーっ



えっ……？



なんて私、もうこんなにな……

ほら、瑞鳳君も待ってただろう？

ち、ちがっ……

こういう時は正直な方と話し合うのが手取り早い

と言ってもここまで柔らかく受け入れられるとは思って無かったけどね

昨日一日中愛し合ってたけど

やっぱり僕と瑞鳳君は相性良さそうだ

奥まで簡単に入ってっ……



わあ！

わあ！

ねっ……！



ちがうっ
提督はっ……！

提督とココのサイズも
似てるみたいだったから
瑞鳳君を昂ぶらせるのも
楽だったし……



瑞鳳君もつと
教えてあげるよ

ほら、もう
蕩けてる



ここ浅い所を早く
動かすのに君は弱いんだよ

今日ははつきり
解るだろう？

何でこんな
簡単に解るのっ……

昨日はもう
朦朧としてた時
だったけど

も、もうっ
頭も、もうっ
キ、キ、キ……



あつ、またっ
クッ...
キッ...



は...
は...



は...
は...
は...



どうだい、瑞鳳君？
とても気持ちいい
...だろうか？

は...
は...
は...



どうしてか
知りたいだね？



も...
何...
頭...
な...



また勝手に
イこうとしたね

顔は抑えてても
瑞鳳君のは簡単に
解っちゃうんだよ

は...
は...

どうしてか
知りたいだね？



あ、ああっ…
きたっ…

それっ!

やだっ
おわっ
ちや

ぬげちやっ
…



その時にゆっくり
引き出せばホラまた
逆戻り、
これを繰り返せば…

やだっ…
またっ
く…

瑞鳳君は奥で
いく直前お腹が
震えだすから
本当にわかり易いよ



まあもうまともに
頭に入る状態じゃない
だろうけどね

またっ…

もうっ、続けたら
死んじゃうっ
たすけてっ…
許してっ…

僕はそんなに
動かなくていいから

こんな風にずっと
楽しめるワケだよ、
解ったかい瑞鳳君?



刺激を
受け入れるだけ
翻弄されればな
っ感じかな?

またっ…

提督
たすけて
よおっ



おっと？
凄いやつ？
何か言いたいの事があるのかな？

イヤなら仕方
仕方ないなあ
瑞鳳君は……

ウんツ
ひんひん……
終わりの？
本当に……？



何がイヤ
なんだい？
言っ
ごらんよ



軽くキてるけど……
まだっ……

そういう事なら、
浅い所で
イかせてあげるよ
これで満足
できるだろうし

足りないのよ、
足りないのよ……

ヒューン

思い出しちゃって
すごい硬くて
何度も何度も……

私の奥まで
全部っ……

ヒューン
ヒューン
ヒューン

ヒューン
ヒューン

ヒューン
ヒューン

こんなの……
ズルいよお……

僕はもう
終わりだって
言っただから
欲しいなら
まず、ちゃんと
言ってくれないと
困るんだけど

ヒューン
ヒューン
ヒューン

そこで
ストップだ

……

ヒューン

ヒューン

ほら、瑞鳳
言うんだ
お願いしますって

ヒューン

ヒューン

ヒューン

ヒューン

ヒューン

ヒューン



自分から
提督に酷い事
言おうと...

ええー！

あははははは

はい

あはは

あははは

あははは

あははは

あははは

こんなっ...
激しい...

あはは

さつきは瑞鳳君も
欲しがってただろう

あははは

あははは

身勝手は
良くないな

あはは...

言った通り、
たっぷり
使わせて貰うよ



おもしろい……
奥の奥……



そこから
身体が……
溶け出……

おなかっ
めくれちゃっ
みたいになっ……



ハハッ、凄い声
出てるよ瑞鳳君……

おもしろい……



それにしてもっ
いい締めだねえ……!

訓練してるからなのかな？
僕でさえびびったり
するんだ、提督も
相当気持ちいいだろうね

びびり
びびり
びびり



ま、また
提督の話……

その辺どうなのかな
聞いているかい瑞鳳君？



そんな事……
答えるワケ
ないじゃない……!

びびり
びびり
びびり

びびり
びびり
びびり

絶対ムム……

ここら辺で一度っ……!

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ふう……

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

掃除してるとはいえ
流石に床は……
服が汚れてしまったね。



続きは部屋にしよう
いいね、瑞鳳君？

聞こえてるのかい
瑞鳳君？

ほら、
どうだい
瑞鳳君？

そんなの
知らないっ……

私も、嫌だけど
この感覚に
慣れてきてる……

もう、つれない
態度だね……

もっと意地悪した方が
良かったかな？

おおっと……

にしてもっ……
昨日あんなにシたのに
まだ全然余裕そう……



電話か……
鳳翔かな？

ちよっ、
ちよっ！？

離してよおっ……！



このまま電話に
おつきなわよお……

えっ……！

はい、もしもし
小料理、鳳翔です



もしもし、こちらは
この島の……



……丁度
良かったぞ

ああ、
提督さんですか
声で解りますよ

えっ……！

今こちらに
瑞鳳さんが
いらしてるので

いやね、鳳翔と一緒に
料理を教えてまして

こんな事まで

私っ行き先だっ
誰にも言っ
なかつたのにつ

それで、何の
ご用でしょうか

おっ
おっ
おっ

……はい、どちらに
替わりますか？

それでも
かけてくるなんて
やっばりつ
バシでたんじゃ……

瑞鳳さんで、
……解りました
少々お待ちを

それとも
鳳翔さん
連絡した
私にのら

瑞鳳さん、
提督さんか
ですよ！！

とにかくお声、
出さないように
しないとっ……



解ったよ、今日は
ゆっくり教えて
貰うといい……

はっ
あ、後そうだ

何……っ？



深雪の奴が
不貞腐れてたから
なんか今度
埋め合わせしないと
ダメだぞ？

うん……



解った、その…
ごめんね…
提督

……それは深雪に
言ってやれって

だ……って……



まあ、とにかく皆
心配してるんだ
ちゃんと帰って来いよ

……あー…
その何だ…瑞鳳



愛してるぞ

あ………
私………
なんて………

あ………

………
………

提督の事考えながら
こんな男につ……
犯されてつ……



「扉」は「U」……

絶対にダメな事
だった筈なのに……
もう当たり前みたいに

熱いのっ……
注がれてっ……



……どうやら
上手く行った様だね
……瑞鳳君、
興奮したろう？

……あ
……あ
……あ

まだ、頭が
しびれてっ……

そんなッ……

おははは

まあいいさ、
今日はゆっくり
できるわけだから

瑞鳳君
そうだろう？

おははは

……

……

……あ
……あ
……あ



あーっ
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



瑞鳳君、
どうしたんだい？

やめてっ
そんな
押し
付け
ない
で
よ
お



何を今更……
お互い散々
ここで繋がったん
だからね

あーっ
あーっ
あーっ

ほら、触って……

あーっ

うわあっ……
こんな熱いのが

おや……
どうしてそんな顔
するんだい？

あーっ

あーっ
あーっ

私の中に……

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ
あーっ

あーっ



もしかして、瑞鳳君
間近できちと
男のモノを
見た事がないのかな？

さっきまで
何度も入ってた
なんで変な感じ
……

だったら
この場で慣れて
おくといいよ

ちよつと、
口の練習して
おこうか……



……この反応、
どうやら
そうみたいだね



ハハッ……
迅速な判断だね

……つ！
変な味と
匂いがして
気持ち悪いよ……



口でするのは
知識位は
あるだろう？

ホラ、やってみて
いい機会だよ
……提督も喜ぶさ

そんなわけ
ないわよ……

それはっ……



……それなら
僕が君を
また弄り倒して
あげようか？

……それで
いいんだ

……いきな
に近くだ

……っ！



ほら、形が良く
解るだろう？
結構表面は
でこぼこしてるんだ

提督とも
シた事ないのに…

何で
こんな事…



でも、早く鎮守府に
帰るには
これしかないの…



そうそう
上手だよ、瑞鳳

少し口の奥に
入れてみようか



こんな事してるのが、
しかもこの島のエース
なんだから

そんな
言わな…



おっ…これは
たまらないな



ほら、瑞鳳君
どんな風に見える？

そんなの、私
知らないわよ...

そんな風に
意識させないで...

さつきよりっ、
真ん中に熱い心
入ったみたいにおい...
なってるよ...



瑞鳳君のココも
さつきから蜜が
ひっきりなしだね

ほら、続けて...
お互い気持ちよく
し合おうか

男の人って、
こんな風に
なっちゃうんだ...

それにこの格好...
普通にスるより...
お互いが無防備で...



僕もきつちり
シてあげるよ

もつと
みだらしい事

そうそう、
その調子

あか



こんな事に
なるなら先に
提督にシて
あげれば……

提督のもの
かな感じ
なのかな……

良かったのかな……

おおう……
瑞鳳君やるねえ
なかなか
筋がいい様だ



僕も負けて
られないな

とにかく、
普通に入る位なら
こつちの方がマシな
筈よね……

っ……瑞鳳君、
急いっ……!!

それに、少しでも
手玉に取られたら
仕返しだつて
出来でるだろうし



……ぐっ！

カッ！

カッ！

カッ！

カッ！



これが…
男の人の味っ…

これは参ったな、
瑞鳳君……
やるじゃないか



ねばついで
不味くて……

まるで、この男
みたいにつ……

さて、これから
どうしたものか……



おや、雨か……

凄い音だ、これは
本降りになるね

あ……

あ……

あ……



—ううん、
どうしたものかな
こりやあ
酷くなるぞ



奇遇ですな



おっと、提督さん
こんな所で



ま、そういう事
でしょうな

行き違いか……
ご安心下さい、
先程こちらも
雨脚が強くなる
前に帰る様
お送りしましたから



といつても、瑞鳳さん
をお迎えに来たんでしょ
うが

あ、はい
まあ……



……この道を
知つてるとは
流石だなあ





どうやら
神殿の様なもの
あったそうだよ

瑞鳳君、
いい顔だね...
とても綺麗だ

こんなう...



よし、
この辺で、
いいかな

知ってるかな、
この辺りには昔
の遺跡があった
みたいだね

さらにその後は
潜伏しやすさで
軍事的拠点に
利用されたりも
したそうだよ



勿論掘れば死体も出る
地元の人はずっとも
複雑だろうね

あつ...雨の
中なのにな...
熱が、伝わってくる

また...
犯されちゃうんだ

瑞鳳君は
どう思う?

そんなの...
知らないっ

つれないなあ.....

カッ
カッ
カッ



君の先輩達が
ここで戦ってたかも
しれない場所だ

セックスに
耽ってるんだから

申し訳ないとか
そういうのは
無いのかな

カチカチ
カチカチ

カチカチ

カチカチ

カチカチ
カチカチ

カチカチ

いきなり……
激しいっ！



だから私は……
関係なっ……

カチカチ

カチカチ

あつ……これっ……
冷たいのどっ
熱いのがムツキリして……

カチカチ……カチカチ



いつもより余計に、
入ってるのが
解るっ……

カチカチ

カチカチ

……それじゃ
こっちはどうかかな

カチカチ



君の提督、
こんな道を使う程だ
急いでたんだろうね

自分も酷く
熱くなってるのが
解るっ……

君に早く
会いたかった筈だ

それなのに君は
外で腰を振ってる
わけだ……

あなたの……
せいでしょう！



大体、提督に
助けを求めたって
良かったんだよ

っ……！
そんな事したらっ
掻き出される度に
少し冷たくてっ……

そんな事したら
どうなるんだい
瑞鳳君

変な感じっ……

提督を絶対に
信用してるなら
そうすべきだけど

……それが
できなかった

提督とまで
ギスギスする事は
ないんだよ？

アナタが
言える事じゃ
ないわよっ……!

瑞鳳君には
どうやら事情が
ありそうだねえ

けど、
この宙ぶらり
危ない状況を
瑞鳳君はどこか
愉しんでるね

ハハッ……
それもそうか





なっ……
何でそうなっ…

まあ、だからこそ
君は素質が
あるんだけど

キキキキ

キキキキ



この雨だ、
もっと思い切り
叫んだって
大丈夫だよ？

違っ…
私…

そんな…
楽しむなんて
考えてないっ…

キキキキ

はっ



これっ…
いつもと
全然違うっ

思ったより早く
射精して
しまったね

まあ
丁度いいか

本当に
ヘンになり
だった……

続けたいのは
山々だけ
提督に言った
手前ね……

そんなに
見ないでお……



それじゃ、瑞鳳君
帰る前におさらいだ

...

でも、まだ...
私は大丈夫だから...

よし、
いい子だ



24





やだっ……こんな時に私、何を想像してっ

瑞鳳……？

えっ……何？
提督

子供扱いしちやったか、すまん……

もうっ……それ位はいいわよっ……



それじゃ頂こうか

いやあ、楽しみだ

元々、瑞鳳が作る朝食は抜群だからな

それが更にパワーアップになると……



もうっ……

そんな一日で変わったたりなんかしないわよ

なんで一日だけで私、こんな……

でも、つきつ切りで教えて貰ったんだろ？

そりやあもうきつと……



昨日の雨も
かなりの物
だったしな

今日も大事を
取って休んでいいぞ

うん……
ありがと、
提督

瑞鳳？
あつ……！
ゴメンなさい
ポーっと
しちゃった

うーむ、
風邪っぽいのか？



瑞鳳君、今日も
来れたんだね

まあ、
そうだけだね
しかし、僕の話を
素直に聞かかね



だって、来いって
言ったのあなたじゃ…

今日もあの日と
同じで、龍驤が…



何よそれ...

私も.....



でも前と違うのは...

まあいいさ
丁度良かった
龍驥君が見たかっから
そうだから



君の事を
気にしてたからね



りゅ、龍驥...
こんな格好っ

ええやろ、
男から見たら
最高の光景や

そんなっ、
私喜ばせる
つもりなんて...

それじゃ、づほに
思いつきりしたってや
ああ、勿論さ

驚いた、ホンマに
まだ……凄いなあ
づぼは……

龍驥
何なの？

どどど

どどど

どどど

どどど

いや…
何でもないわ

ほら、はよ
入れたってや…

どどど

どどど

どどど

どどど

あ…

どどど

どどど

どどど

いいね、
瑞鳳君？

今度は逆に私が
龍驥の目の前で
犯されるんだ…

どどど

どどど

どどど

どどど

どどど

どどど

どどど

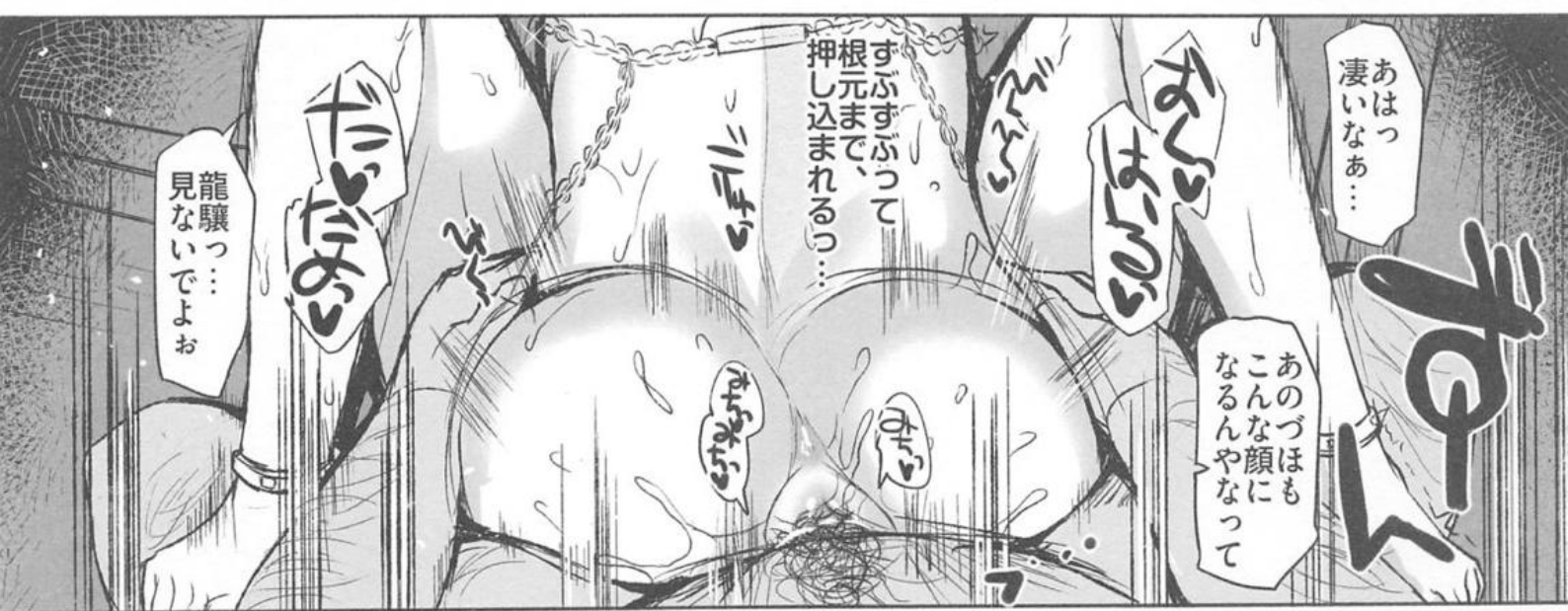
どどど

どどど



今日は……
ゆっくり入って

やだっ……
意識しちゃっ



あはっ
凄いなあ……

あのづほも
こんな顔に
なるんやなって

すぶすぶして
根元まで
押し込まれるっ……

龍驤っ……
見ないでお



そりゃ出来ない
相談やで……
見逃したら
一生モンや……

あっ……
やだあ……



こんな瑞鳳の
とろつとしたメスに
なりかけの顔……

目離せへん……
次の瞬間
コロっといってまう
かもしれんしな……

そんなんっ……



完璧に身体は
仕込まれる

もう、こりや
ギリギリで
踏ん張ってる
だけやな

違っつ
私は…

そんな事…
ないからあつ

あゝあゝ

ああ…
ホンマ、
可愛いなあ



ほら…
抵抗しひんのかい？

だってこんな
女の子同士でっ…

いきなりキス
するなんて…

あゝあゝ



龍驤みたいだ
おかしくなったり
なんてしない…

ん…!



ちゃんと
逆らって…



おっと、瑞鳳君
二人だけで
盛り上がり
頂けないなあ

あゝあゝ



瑞鳳君は本気で感じるとこういいう声になるんだよね

声……出ちゃっつよあ……



僕の事も忘れたいね

うわっ、凄いい声

奥に思いつき突き刺さって

やだっ急に激しく……



誰に惚れててもぐずぐずにしてまう

ホンマひどい男やなあ……



やだっ……見ないでっ……

瑞鳳君、特に今日は興奮してるね

ただ、今日はそれだけじゃなさそうだ……

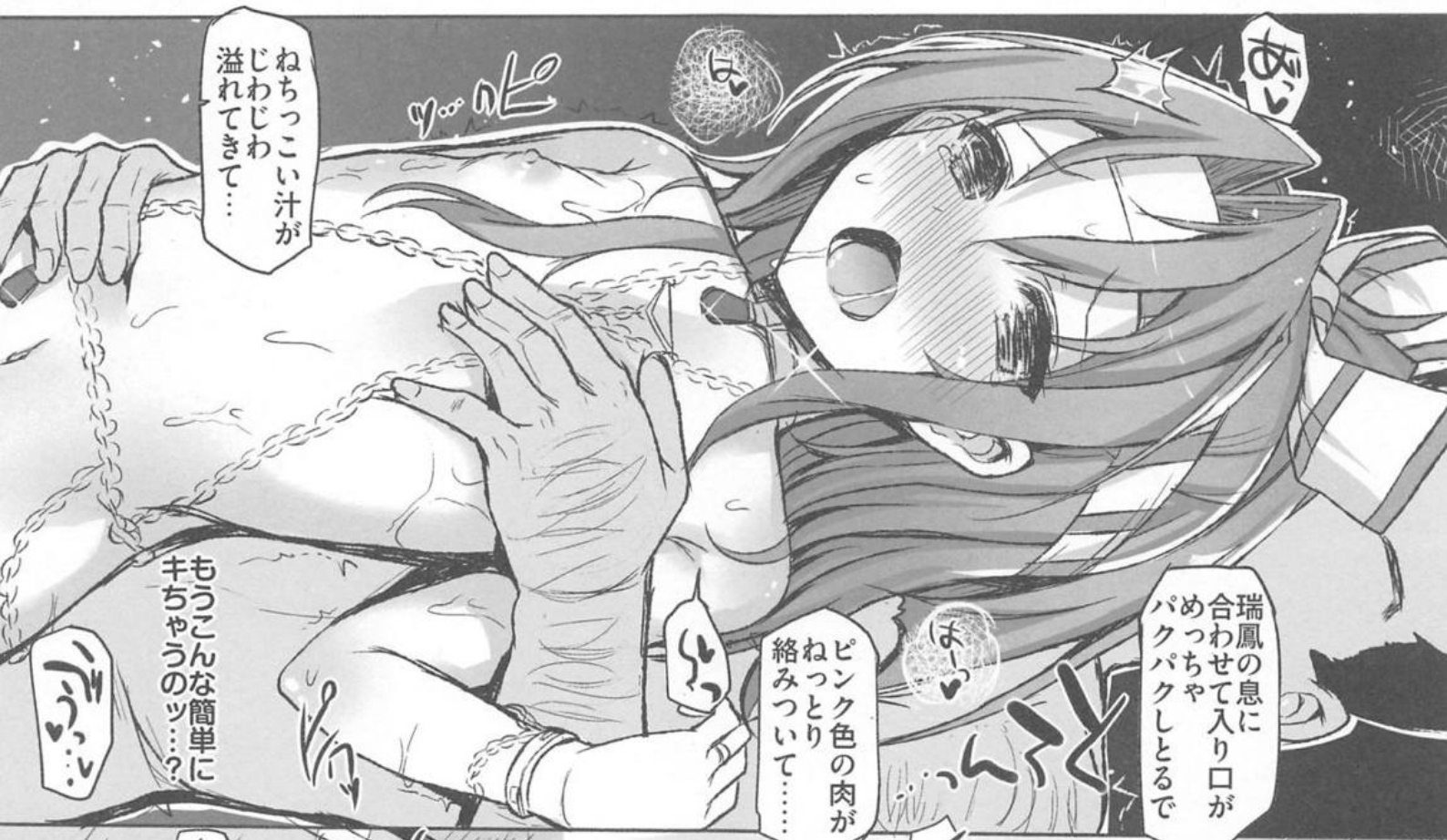
もっと龍驤君に見てもらおうか



あつ……
息がっ……!

うわっ……
えげつないなあ

それっ……!



ねちっこい汁が
じわじわ
溢れてきて……

もうこんな簡単に
キっちゃうのツ……?

ピンク色の肉が
ねっとり
絡みついて……

瑞鳳の息に
合わせて入り口が
めっちゃ
パクパクしとるで



そんなの
知らないわよお……

だそうだよ、
瑞鳳君

見る人が見たら
卒倒モンやな



さて、そろそろ
いいかな？

よっと……

ブツ

カッ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ



さて、覚悟は
いいかな瑞鳳君？

ブツ……

あ……

うん、
感じ方も
十分だし

今度は……
何を……

ブツ

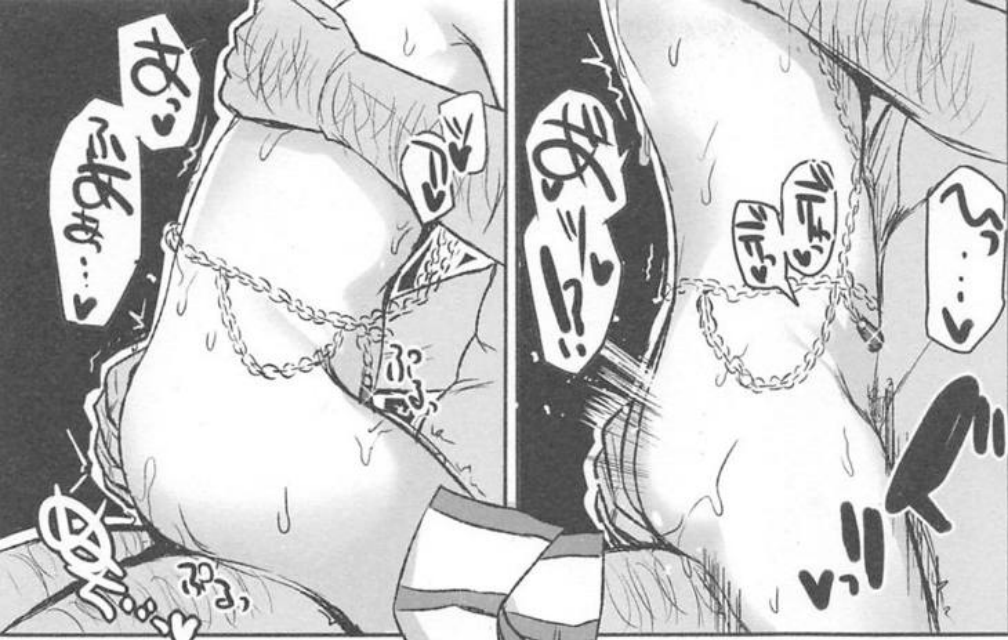
ブツ

ブツ

ブツ

ブツ

ブツ





きつと、提督も
気持ち良さそう
だったんだろ



これっ
やだあつ……

瑞鳳君、解るよ
不安なんだらう？

でも本人に
確かめたくない
怖いからだ……

本当は提督から
鳳翔に手を出したんじゃ
ないかって……



あ……やだっ
急に優しく
しないでよあ……



やっ……
何これっ……？



変な気持ち……

ちゃんと僕は
解ってるよ



何これっ
全然動いてないのっ

わ、私は
そんなあ...

身体がずいずいっ...



ちよつと、
やさしくされた
だけなのにつ...

意地を張らなくてもいい、
不安な時はもっと
正直にならなきゃ...

あ... 幸せな感じが
いつばいで...
もつとつ...
欲しくてっ...



ほら、最後に一度
自分で動いて...

こんな甘やかす
言葉だけなのに...

これで
終わりだからね

これだけで
なんでっつ...

この男が
好きみたい...
なっ...



やめて……
もういいでしょっ……
動かないでっ!

そうそう、
いい子だ……

終わった……っ



あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

なあれっ……?
なあれっ……!

僕は、
動いてないよ?

ハハッ……
やめてたって?
何を言ってるんだい
瑞鳳君?

ウソっ……
とまらなっ……

かっ
かっ
かっ

かっ
かっ
かっ

かっ
かっ
かっ

かっ
かっ
かっ

かっ
かっ
かっ

かっ
かっ
かっ

あ、あれ？
これつ出てるのっ……？

ほら、瑞鳳君
僕も、ちやんと
愛してるよ

ゆづくり漏れる
みたいに……

んんん……

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

心も身体も
弱った女の子
両方、甘やか
追い込んで

なんのたけ
な

今までで
一番……

こりやもう、
づほも
ダメやろな……

あ

気持ちSS……

あ



全身がつ、
甘く痺れてっ……
収まらない……

甘い波に
ゆっくり
優しく
飲み込まれて

……まだ物足り
なさそうだね



そんな事ないっ……

もうっ……
やだからっ……



何もかも嬉しくっ
ほんやりするっ……

絆もさ
何れも
曖昧に

提督、
怖いよお……



このままじゃ、
全部好きにされて……

瑞鳳、次は
ウチの番やろ？
交代してや

優しくされて

おいおい、
君たち……
続行するんかい

無理っ……
だ、だっ……

この人とする事しか
考えられなくっ……
なっ……



真面目そうな顔して、結局これかい！

あれっ……？ 私に何か言ってるの……

龍驤、どうしたんだろ？ 怒ってるのかな？

瑞鳳もタダのオ○ンコ穴って事やな
こんな汚いメスとつがいになって……

提督も可哀想になあ……

あ……提督……きこえた……

最低の女や、失望したわ！

よくわからないけど……

うれしいうれしい……

うれしいうれしい……

このッ！





きもちいい以外
わからない...っ

このっつ...
クソメスっ!

NSUN...??

凄...
じやう...
じやう...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...



随分、
お熱だね
龍驤...

ああ...
ええ気分や

そんな事より
な、次はウチに
シてな...??

勿論だよ、
おいでよ、

ああ...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...

あ...
あ...

もう何も
考えたくら...

あ...
あ...



あーっ

ほらっ、もっと動いて…瑞鳳

ちよ、ちよっとお…

こんな気分初めてでっ…提督…私っ…

お願いだから呼び捨てしないでっ…

何だい？

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



もっ…自分から動いても全然イヤじゃなくなってるっ…

むしろっ…凄く嬉しいっ…

いいじゃないか…瑞鳳

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

…だ、だからやめえっ…

あーっ

何を言わせた心地が…

あーっ





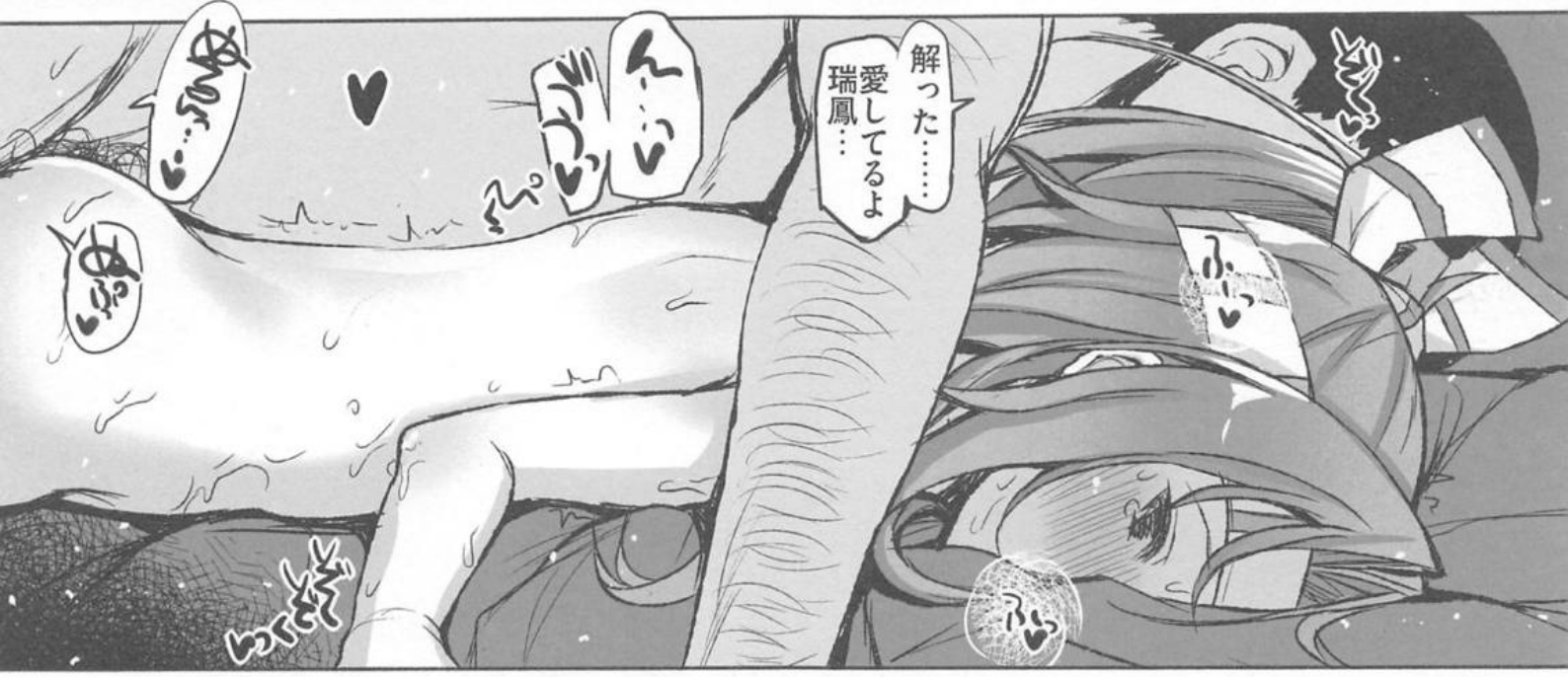
でも……
本当に怖いのは

そんな事……
ないから……

まったく
嘘つきな
子だな

とにかく、
アナタが呼ぶのは
絶対ダメなんだから
……ね？

僕だって
君にとつて
特別になつた
筈だろ？



解つた……
愛してるよ
瑞鳳……

ん
ん
ん

……



だから……

それすら
イヤじゃないつて
思えちゃう所……

……



今日は朝まで
龍驤と交互に

たっぷりと、
愛してあげるからね



提督……
もう、私……
幸せすぎて

壊れちゃうかも……

アッアッアッ……

TURNED INSIDE-OUT

ADULT ONLY





そう思わないか？



この島も
大分涼しく
なってきたな…



入りますよ

ああ、
鳳翔か

ありがとう

服の方洗濯して
置きました



あなた、
終わったら
こちらに
呼んで下さいね



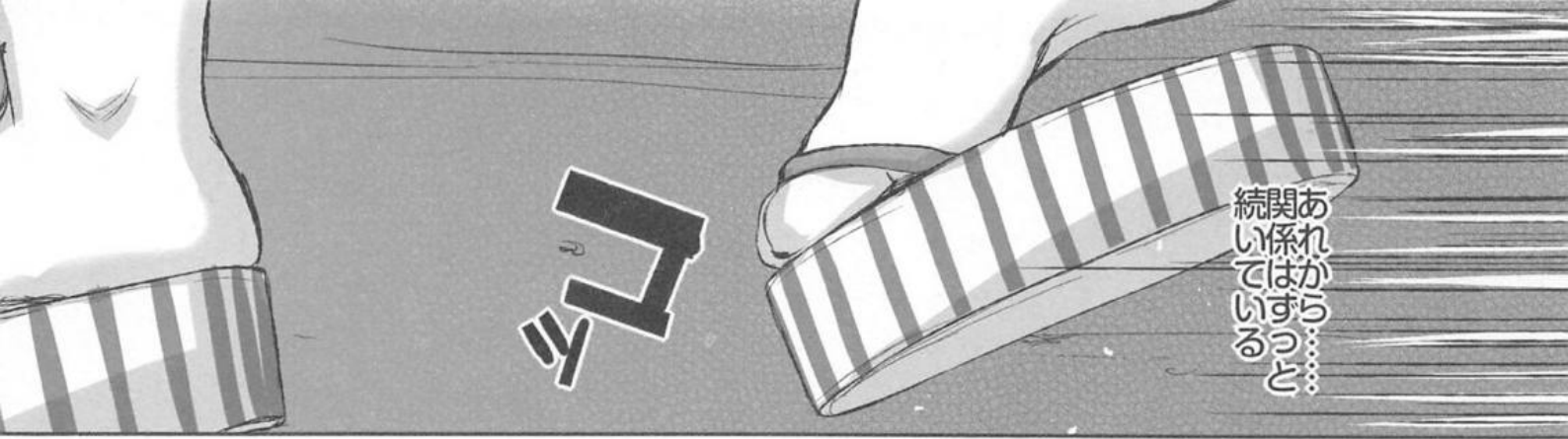
証拠は
少ないから
いいからね

ホラ……
瑞鳳も鳳翔に
ありがとうは？

そんな、
いじめたら
可哀想ですよ？







あれからずっと
関係は続いてい

フム



週に何度か会い、
あの男に抱かれる

ただ、セックスに耽るだけ

「ハハ...」

もう、脅しもしてこない

顔でバレバレだよ

瑞鳳は本当にココが好きだねえ



都合の良い男として使ってくれ、と言われるけど...

実際の所はもう、多分

ドドド





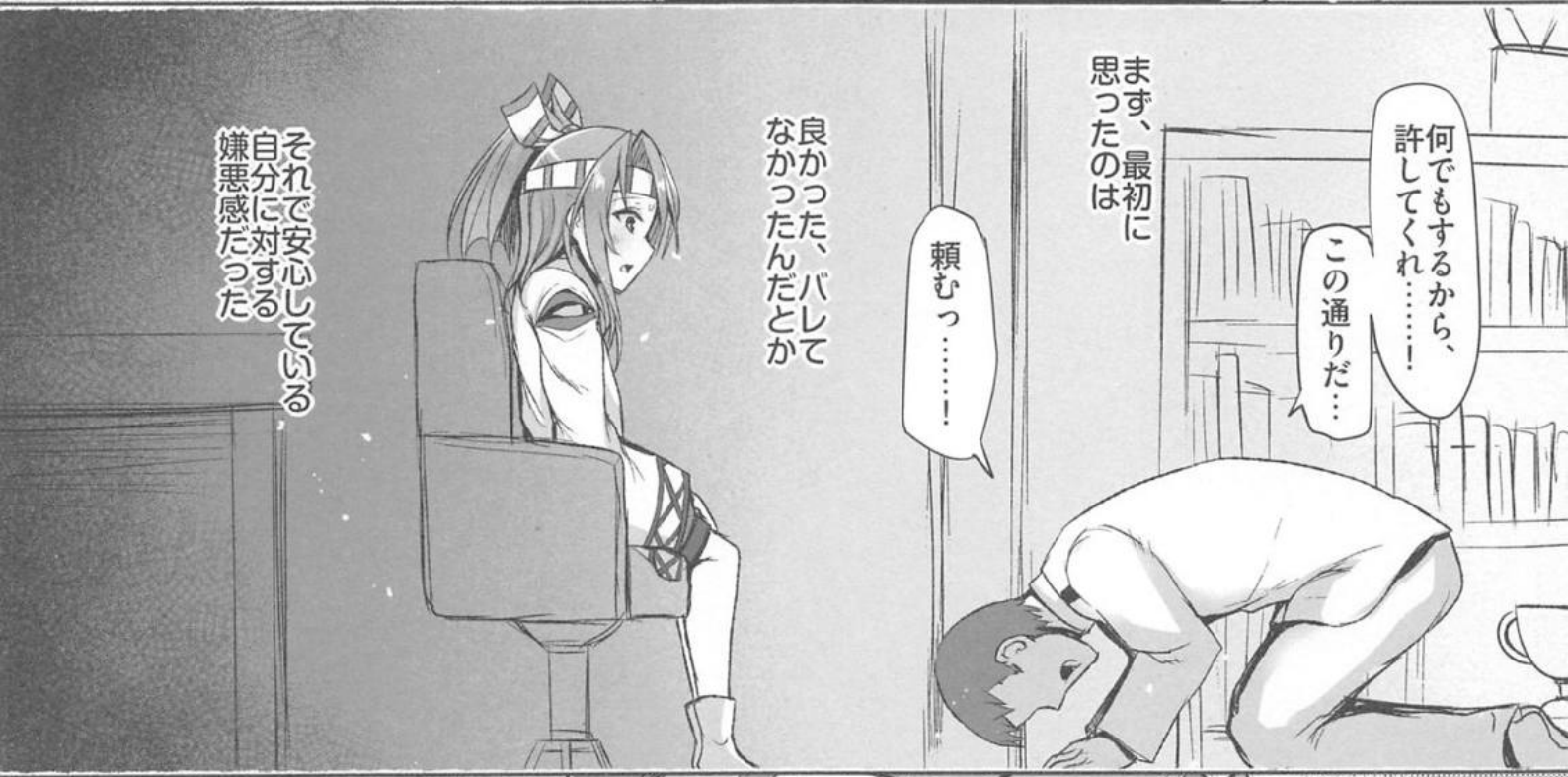
俺には瑞鳳がいながら……

数週間前にあの店の鳳翔と……関係を……



瑞鳳、

本当に済まない！



何でもするから、許してくれ……！

この通りだ……

まず、最初に思ったのは

頼むっ……！

良かった、バシてなかつたんだとか

それで安心してらる自分に対する嫌悪感だつた



困る……困るわよ……



そ、そんな事いきなり……言われても……

でも……一番最後は

.....どうして私はあの時、こんな風にできなかったんだろっ

瑞鳳...?

それだけだった.....

特別休暇って.....珍しいどころかこっちに移ってから初めてなんじゃない?

だよなあ、ていうかずっと休暇みたいなものだしユコ

敷波、ほら、ユコ見てみ

.....ん

瑞鳳と二人きりで旅行だって話だ

行き先は?

それじゃ撮るね..





数年でこんなに…
…本土も
変わったわねえ

平和になれば
地力はある
国だからな

お前は
何か欲しいもの
ないのか？



それじゃ
行きましょ

服とか
カバンとかさ

特に無いわね…
…似合わないわよ…
…私には



ここも…
ホテルに
なつたのね

いや、元々ホテル
だったのを本部が
間借りしてただけさ

あ、そうだったの…

ああ

……

提督は
覚えてるわよね？

ああ……
勿論だ

この部屋の隣位
だったかな？

そう……
仮眠室で初めて
愛し合ったの

三日後には
艦隊の皆に直ぐに
バレちゃってな

……
色々あったけど
やっぱり私は
提督が一番大事

私達、これから
ちゃんと
やり直して……

瑞鳳……

……
って……もう、
最後まで言わせてよ

瑞鳳っ……

だからね、

ありがとう……

提督っ

女



提督とスるのは
何週間
ぶりかしら...?

アッ

私、少し
不安になっ
てる...

待って...



提督の身体、
凄く熱くなっ
て...



.....ひ、
久しぶりだから
やさしくして.....
ね??

瑞鳳、
.....どうした?



けど、我慢は
できそうにない.....!

.....解った



努力はする.....



私の事を、本気で
欲しがってるのが
何となく解る...

優しいけど、
無理やり自分を
押し込め込んで
みたい...



もう、
服が汚れちゃうっ...



大事にされながら
愛されてる...

嬉しい...
嬉しい...



脱服っ、
脱ぎましょっ？

提督、ソコッ...
だめえ...





瑞鳳、いくよ？

うん

ヒッ



ヒッ

ヒッ

ヒッ



ヒッ

あ……懐く
気持ち良い……

っ！
凄っ！
締め付けっ……

やっぱり……



提督……！

ヒッ

ヒッ



ヒッ

そんなに
見ないでお……

……

やっぱり、
凄くキレイだ

……もうっ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ



提督とするの、
幸せ……
本当に、嬉しいよお……

瑞鳳っ！
愛してるっ……

この感じ、
暫く忘れてた……

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ



瑞鳳っ！

好きをそのまま
みつけられ
たいになっ
て...

瑞鳳っ！

瑞鳳！



早くっ

私の身体が
壊れそうっ



瑞鳳、
早くっ

んっっ...
...

艦娘がまだまだ世間で認められて無かった頃だ

ああ……余りいいお別れをしなかつたよ……

……本当に驚いたよ

何より、昔はああいう風じゃなかった……

鳳翔はもっと……

だから、なのかも……言いたくないけど

俺が鳳翔を……変えてしまったのかと……

その……純粹で綺麗な人だった

責任なんて、今更なのは……解ってたのにな……

そう……

そうなのね……



あ、帰ってきた

瑞鳳も……
羨ましいぜ！
畜生！

ハハッ……
そうだな、
悪かった

いーじゃんよ
いきなり休んだ
提督が悪いのさ！

ちよつと深雪
はしたないよ……

おみやげつ……と！



……本当に？

元々こんな
長続きするなんて
考えてなかったしな

思ったよりづぼが
ズルズルにされた
からなあ……！

何や、少し位
イヤミ言ったって
ええやろ？

なっ……



ええよ、
アイツにウチが
掛け合つたる



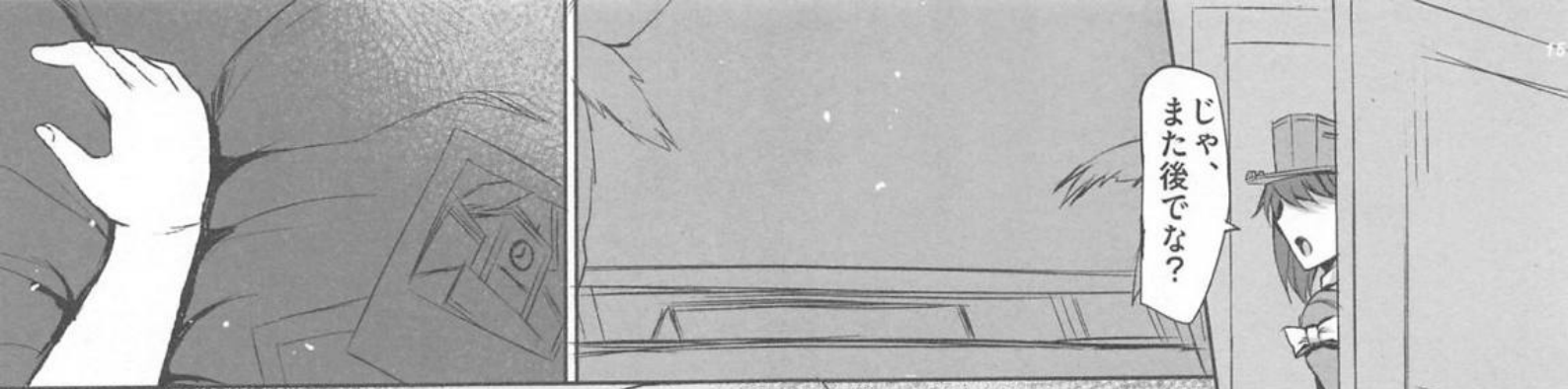
アイツとは
もう仕舞い
つて事をな

……まあ、
どっちにしろ
潮時やろ

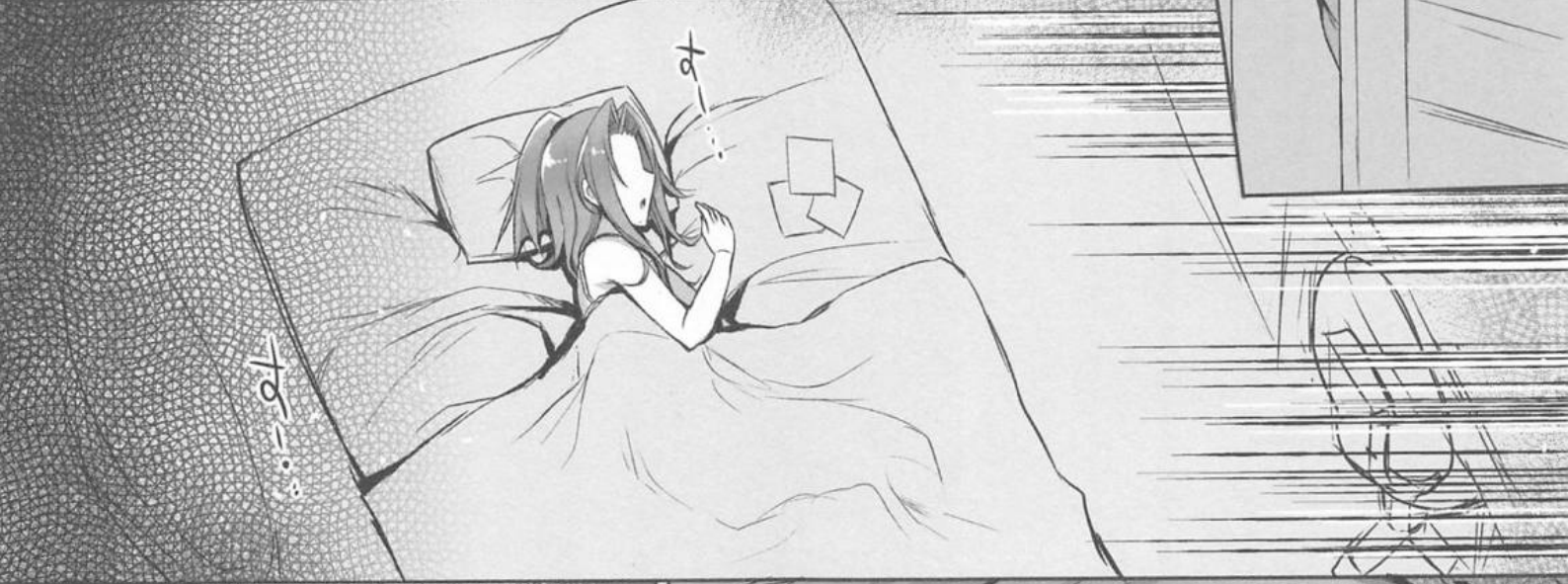
な？

う、うん……





じゃ、
また後でな？



あーあ



…眠り姫だな



安心しすぎなんじゃないのかい、瑞鳳？

な、何っ……
えい

おはよう……
艦娘が寝込みを襲われるなんて

艦娘だ……



えい！

えい、えい

づほは、簡単に
抜け出せると
思ったんかな？

ホンマ
甘いなあ……

はい

何でっ……
ここにっ
入り込んでっ！

カクカク……

カクカク……

瑞鳳、旅行は
楽しんだかい？

カクカク……

カクカク……

いなくなった
寂しかったよ……

はあ、また
適当な事
言ってる……

まさかっ……
龍驤が……
手引きしてっ

カクカク……

んな事より
とりあえず
ご対面やな

抵抗しなげや……っ！

はは……ホンマに
猫にマタタビでも
与えたみたいやな

ツッ！

カクカク……

カクカク……

カクカク……

カクカク……

カクカク……

カクカク……

カクカク……

カクカク……

カクカク……

ホラ瑞鳳ちゃんの大好物のチ○ポやで…？

今度こそ抵抗しよう…

セ…

わ、凄い音しとるな…

セ…

今は瑞鳳は君より濡れやすいよ

…マジかい

セ…

あーあ…根元までガツツリ啜え込んで

全部台無しになっちゃうつ…

数週間でどんだけ仕込まれてるんや…

ん…

セ…

ん…

君の前ではどうか知らないが瑞鳳はかなり積極的にだからね

ホントに台無しに…

そうなんか？ とんだスケベやん…

づほも良い顔になったなあ

…

セ…

セ…

セ…

セ…

ん…



このザマ
なんやから

提督も可哀想になあ、
可愛らしい嫁さんが
まさか旅行直後に...

完璧に
メスって
感じや...



身体が...
言う事効かない

じゃ、
カウントダウン
行くで...

ほら、抵抗しないと
挿入ってまうよ?

いびき!!

私、心に
決めたのに...!

よん

さん

ははっ...
誘ってる様にしか
見えないな...瑞鳳

提督をちゃんと
やり直して...

いびき



カッパッ...カッパッ...

カッパッ

カッパッ

カッパッ

カッパッ

ズンズン

カッパッ...カッパッ...

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ホンマに一発やな...

瑞鳳はそういう娘だからね

カッパッ

...ダメな事が好きなのさ

カッパッ

カッパッ

カッパッ

カッパッ

カッパッ





あら……瑞鳳
起きたみたいね

おはよう
ございます



提督……あなたの事、
心配してっ……!!

鳳翔さんっ……
もう……許してっ!!
何でこんな事っ
するの……!!

あら、そうなのね



あ……



それじゃまた……
少し強くしますね

いっ!
やだっ……!!



龍驥とあの男に
犯された後……

気がついたら……
こんな格好でっ

でも、あの人に
言われた事だから
……悪いわね

このオモチヤ
良く効くのよ……
天井を思いつきり
刺激するから

気絶しても……
何度も……

鳳翔さんに
お続け

それと
私の前で、提督の事
あまり喋らないで
頂戴……

私……もう
おかしくなってる……

……少し、困ります

今日はこれ位
かしら？

あははは？

あ……おしまいの？

身体に
悪いですか
ね？

今私つ、全然
足りないって……

これからは
少しづつ、
優しくして
いきますから

ほら、簡単に
イけましたね……

もっと、
欲しい……

こんなに
ゆっくり
なのに……

あははは……

シたぐなりの……

あはは……

後が
辛いですよ……

あはは……

なんで……
こんな事……

ダメですよ……

これ位の刺激でも
気持ちよくならないと

あははは……

ここでちゃんと
気持ちよく
なれないと





今の状態でも
いけない位
ゆっくりと
中身を撫で
回すだけです

あ……

もう絶対に
イかせて
あげません

でもっ……
もしかしたら
最後まで……って
考えちゃっっ！



それでも、
欲しいですか？
我慢出来ないっ！
ああ……コレでっ……

本気で……私の事
壊すつもりなんだ……



泣き言はダメ
貴方が受け入れた
のよ？

……



SPONSOR'S

ふふっ...

……女の子に
生まれて来た事を
後悔させてあげますね

お……お……
お……お……



お、いただいた……

わざわざ
有難う御座います

いや、こちらは
熱いな……

他ならぬ
君からの誘いだ
十分うま味も
あるだろう

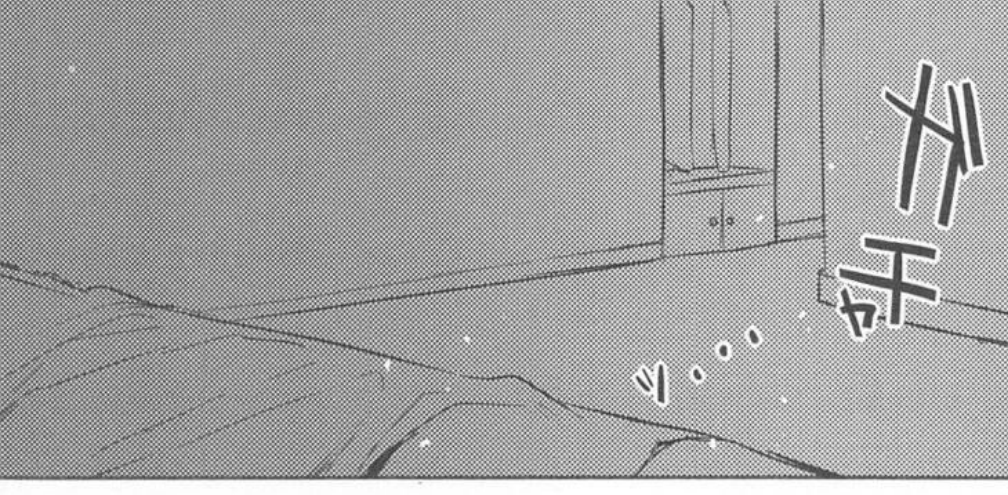


……この
部屋だな



さて……
これか？

はい、
お持ち下さい



ガ
キ
ヤ



いつも通り
ご内密に……

ああ、
解ってる



おお……

これは何と……

今までの中でも一番の「当たり」では……!

カチカチカチカチ

〜い〜い

カチカチカチ

瑞鳳……
良く聞いて

ご褒美があるわ……

明日久しぶりにあの人がこの部屋に来るから

たっぷり愛して貰いなさ

いいわねっ



ああ…… やつと来てくれたっ……

おお……なんと はしたない 誘いだ……

早く…… 触って……

この身体で この淫乱具合……

欲しいよおっ……

こりや 堪らないな

きてっ…… 犯してっ……!

かっ

かっ

ん

あっ……くるっ 当たってるっ……

それ、お望み通り たっぷり 食わせてやるぞ

雌豚め

先がっ

無遠慮に 入ってるっ……

気持ちいのが くる……

頭が……痺れてっ……?

身体が裂ける みたいになっで

えっ……これっ…… 違っ……?

違っっ!!

いつもと 絶対違っっ!!

誰っ?

誰なのっ!!

だっ?

おっ、うおお……!

ん

ん

ん

これはっ!

何これっ

知らないの 入ってるっ

ん

ん

絶対知らない人の
オチ○チンっ……
入っちやってるっ！

良い具合の
穴じゃないか

何っ…

怖いっ……！

もっつと
ユルいのかと
思ったが

ちゃんとして
吸い付いて
包んでくるっ……！

怖っ……

奥はどうだ？

こんなのっ……
ヤダっ……

うむ……
良い反応だ……

耐えられない

このままだっ……

私が私じゃ
無くなる……！

下品な程
セックスの味を
知ってるな

この歳でポルチオの
味を占めてるんじゃ
人生お仕舞いだらう



ダメっ……！
これ以上は

ん？
何だ？
いきなり
声上げて



まあこの豚には
最高の幸せ
だろうがな……

こりや
天性の淫乱だ



ああ、そうか
催促だな？

もう提督に、顔向け
できないわな……



人間じゃない
みたいに

処理される
みたいにつ！

感謝しろっ！
とりあえず
一発、キめて
やるっ！

足を絡めて
必死になってるな

……これで
気持ちよくなったら



誰でも何でも
良いっ……

私、本当に
最低のつ
女の子にっ……



身体も心も全部
壊れ……る……

入るよ、
瑞鳳

大きな、
力強い、
音

音

音

音

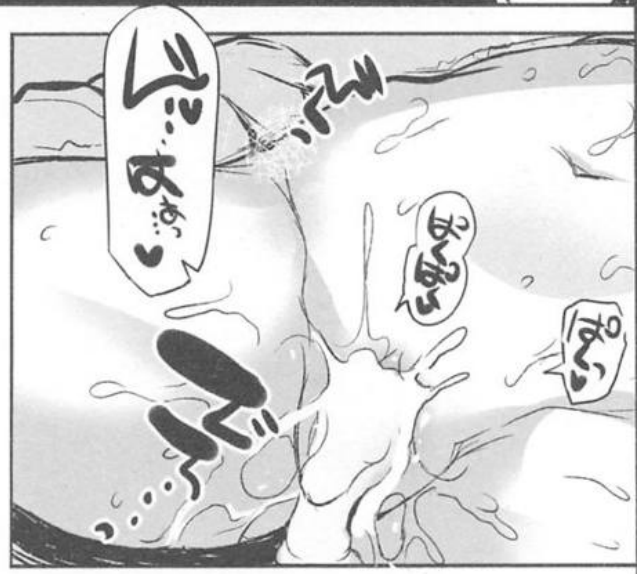
音

音

音

音

少し
間違えて
しまったよ



こんなの
ひどい……
わよお……

うそ……つき……



これは……
手酷くやられた
みたいだね

手違いがあつてね

そう言う割には
良い顔してるよ



瑞鳳



まあ……少しな、
しかし意外だが……
ありがとう、龍驥
これは預かっておくよ

ん、解ったで



確かに瑞鳳の
筆跡だが……

これは……



もう少し
一人の時間が
欲しいってな



おんが

アホな奴や……



何か
あつたんか？
旅行の時



ほらっ……
言うんだっ！

もう一度っ……！

そうだ、
いいぞっ……！

しかし
驚きましたな

おっ
おっ
おっ

こんな上物の
隠し球がいるとは…

おっ
おっ

おっ
おっ

容姿も器量も
申し分ない

いや、偶然です



おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

何よりこの
淫らさ…

おっ
おっ

ありがとうございます
ございます

それで
身請けは…?

おっ
おっ

そればかりは
本人次第
ですな

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ

まだまだだぞ…



唾えろっ
そうだ…

丁重にな…

おっ
おっ
おっ
おっ

おっ
おっ





どれ位、この人達と
シてるんだろ……

おおっ、これは
なかなか筋が良い

もっと良へ
思い出せな……

良い子だ、
次は僕が
ハメてあげようね

もっと、触られてない
部分は無くなって



気持ち良いんじゃないの？

それは……

それ……これだけ
されてるのに足りない……



フツッ……
素直じゃないね

全然
足りなくて



身体を重ねる相手が
提督じゃない事に
もっ、抵抗感が
ない……っ

もっと
イかせて
あげるよ

時には獣の様に
欲しがるのも
男心を掴むコツだよ？

グニグニ

そんなっ

チビッ

チビッ
チビッ
チビッ

チビッ
チビッ

未恐ろしい娘だね
これは……

チビッ
チビッ
チビッ

イヤってのに、
自分の底が
見え無くて

この歳で
どうしようもない
セックス中毒さ

ネジが
外れちゃってる

口答えか？

チビッ
チビッ
チビッ

オラっ、
次だ！

自分がおかし
なところの怖
いのが……

違うなら
抵抗してみろ

チビッ
チビッ
チビッ

っ！
お、おおっ…
吸われるっ！

チビッ
チビッ
チビッ

チビッ
チビッ
チビッ





は...

ああ...私、もう解っちゃった...

ああ...私、もう解っちゃった...

こんな簡単な事だっただのね...!

皆、私が欲しくて...



私は... 皆が欲しい...

それだけでいい...

きつと... 提督も同じ... そうよね...



アハハハ

アハハハ

アハハ

これが...
しあわせ...!!

愛し合ってる...
それだけ...!!

アハハ





……やっと
帰ってきたかあ



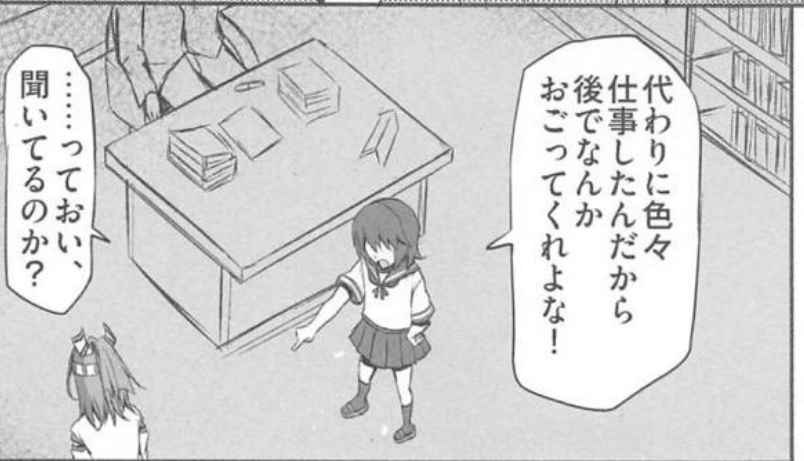
おっ
づほじゃん？



ガッ



お帰り……
待ってたぞ
瑞鳳



……っ
聞いてるのか？

代わりに色々
仕事したんだから
後でなんか
おごってくれよな！



ずいほ……

ん……
ただいま、
てーとく……



えっ……！
あっ……



おとなだ……

部屋に
いるから……
きて、ねっ

ず、瑞鳳……っ？

あ……
あ……
あ……



それはっ……



流石に
昼間からあんな事
されたら困るぞ

でもお……
今なら
いいよね

あんな
瑞鳳っ

てーとくう
……どうして、
来てくれなかったの？



瑞鳳っ、もう
辛抱できないっ



ダメだっ！



ぐおおっ……



解るはあ…
続けるわよね

終わりに
てないわよ、
—とくっ

終わり……？

うあーっ

うあーっ……



わたしのね、
提督の事、
大好きだからっ……

きっっ

これからは
提督も私に
なってるね？



いっほい
ここに頂戴

瑞鳳っ！

……



アハハハハ
アハハハハ

悪い娘だ……

アハハハハ
アハハハハ

アハハハハ

だからっ
瑞鳳の事
愛いっばい
愛してっ



アハハハハ

アハハハハ

それじゃ、
お望み通り……っ



アハハハハ
アハハハハ



アハハハハ

アハハハハ

アハハハハ

……それで、
まだ足りなくて
ここに？

アハハハハ
アハハハハ

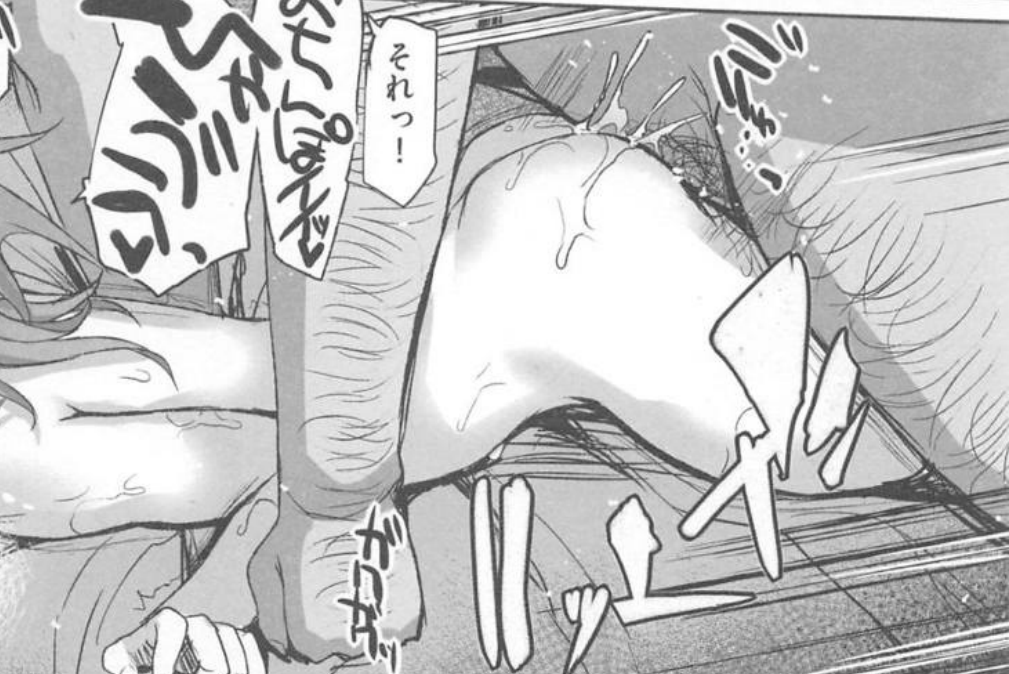
アハハハハ

そう……なのよっ
だっ……都合が
いい様……にっ
って……た……
じゃ……ないっ

アハハハハ

アハハハハ
アハハハハ

それっ！



アハハハハ

アハハハハ
アハハハハ

アハハハハ



こんなのっ...ムリい...



もうイッたのかな随分だらしがない瑞鳳?

だつてっ...わしようがないわよお...



そういえばこの間の連中がまた君に会いたがつてるよ

そう、なんだ...瑞鳳の事、気に入ったのかな?

そのようだ...瑞鳳どうする?



それはあひみつつ...

...それでも身体の反応でバレバレだな

下の方に訊いた方が早いかな瑞鳳は

そうっ...かもお...



やっぱり、
雑に扱われる
方が反応するな
お前はよっ!

そう焦るなよっと

最後は俺か、
いくぞ?!

きてっ!
はやくう...

アッ!!
アッ!!



それはあ...

もつと私を
滅茶苦茶にして
くれたらあ.....
考えるかもねっ



身請けの話は
どうだっ...?

俺が飼ってやる
悪い条件じゃないぞ?



ハハッ
雌豚が一丁前に
言うじゃねえか

覚悟しろよ!



聞いているのかい
瑞鳳っ……!



すっごく、
ステキだった

一生懸命
腰を振って、私の事
愛してくれたの……

僕とどっちが
好き?

それはあ……
皆大好きっ!

瑞鳳は
どうしようも
ない娘だな

こんな風にな?
そうっ……

そろそろ
コツチでも
遊んでみるかい

えへへっ……



今日はあ
普通にす
前に後ろも
いじってみて

瑞鳳、何て
格好だ…

てーさん……
格好だ…

い、いきなり
そう言われてもっ

いいからっ…

てーさん…

こう…か？

っ！大丈夫か
瑞鳳！

大丈夫っ…
やさしく
いじめてね

大好きっ…

瑞鳳っ…

てーとくっ
イイよっ…

んっ…
そんな
感じっ…

……こんなの
えげつないのを
突っ込んで

いやらしい
雌だな……

ふん
ふん

ふん
ふん

お
お

カ
カ
カ

お
お

お
お

だって
仕方ないのっ

お
お

お
お

お
お

お
お

それっ！

それは嬉しいね……
まあ、この調子なら
直ぐに出来上がるな

だってっ、早く
皆とお尻の方でもっ
愛し合いたいからっ……

ん
ん

お
お

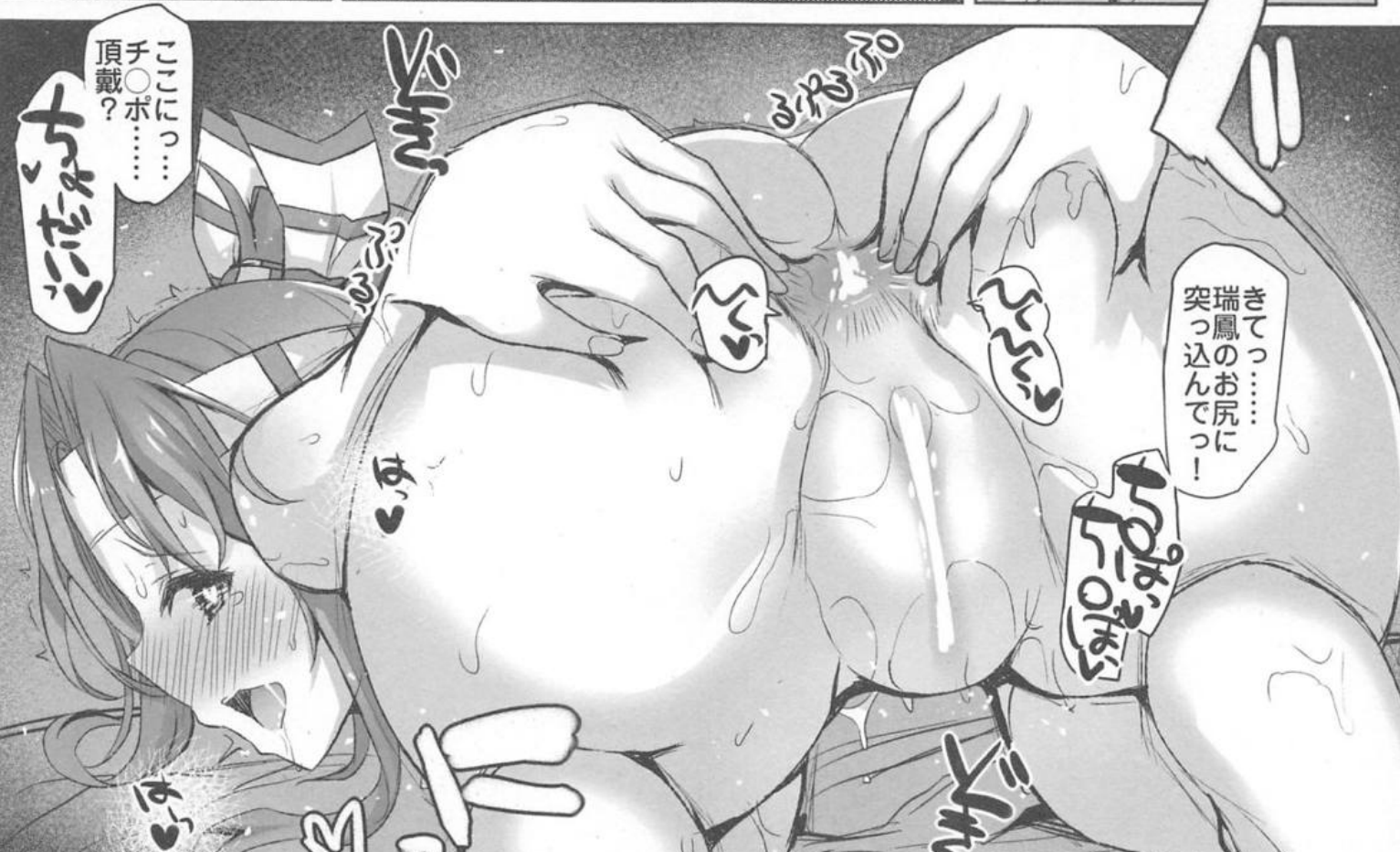
お
お

ん
ん

酷い声だな
豚だつて
もつと節度が
あるぜ？

お
お







いいだろう…
行くよ瑞鳳？

うんっ…

あっ…
大きいのがっ…
入っで

まずは
ゆっくり…

これなら
大丈夫そうだ

私のダメな所まで
入っでっ…!!

どうだい、
瑞鳳？

これっ！穴がっ
削れちゃうっ…

それがっ
堪らないよあっ…



でもっ凄く
幸せッ...



中々いい
具合だよ
瑞鳳...!

私の中がっ
引きずり
出されて.....
壊されちゃっし.....



好きっ.....



もっ.....
欲っ.....



こっちもお...
はやっ.....



前の方も
一緒にしたら
どうなるかな?

いい子だ...

あ...あ

あ...あ

あ...あ

あ...あ

あ...あ

どこまでも
滅茶苦茶に
壊してっ...



あ...あ
あ...あ
あ...あ

あ...あ
あ...あ

あ...あ
あ...あ

あ...あ
あ...あ

あ...あ
あ...あ
あ...あ

あ...あ
あ...あ

あ...あ

あ...あ

あ...あ



あっ……

グワッ

ぷるぷる……

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

ぷるぷる

さて、不安そうだが…
そろそろ練習の成果を見せて貰うかな



おっ……
吸い付いて

おま……
おま……
おま……

あ……お尻のあなた…
オマ○コといっしょに穿られちゃうっ…



きたっ

なんと…
小さな小さい
身体で……

素晴らしいっ

凄いのっ
きたあ…

ハハッ…
随分嬉しそうだな

おま……
おま……
おま……

おま……
おま……

おま……
おま……
おま……

おま……
おま……
おま……

おま……
おま……
おま……



どうだい？
感想は？

すごいっ……
すごいのおっ！

それにしても
凄い反応だな

なあに、
この淫乱には
これでも
もの足りないだろ

両方コロコロっ
凄くイイ……

……



この上子種を
強請るとは、
なんて悪い子だっ……！

もっと
最高……

気持ちいい事
シたいなお……

いいぞ、そのまま
壊れちまいなっ！

オラッ……！



カッパカッパカッパ

カッパカッパカッパ

カッパカッパ

カッパ

カッパカッパカッパ

滅茶苦茶に
なりたいたっ…

もっと
欲しいよお…

欲しい……っ

カッ…

カッ

カッ



おじやま、
します…

ガ
ツ

あら？
今日はあの人は
いませんよ

…はい

知ってる
わよね？



その…料理、
教えて貰いたくて

あらい…
珍しい

あ、その…
気晴らしに

あれだけ毎日
グチャグチャに
してれば疲れて
当然ね…

それじゃ、
お願いします…

あ、い
い

あ、い
い



4



どう……？
気持ちいいかい？

あー



あーあーあーあー

あーあーあーあー

あーあーあーあー

あーあーあーあー



愛してるって……
言ってるっ！

ああ……
愛してるよ

あーあーあー

あーあーあーあーあー

あーあーあーあーあー

あーあーあーあーあー

あーあーあーあーあー

あーあーあーあーあー



愛してる、
鳳翔っ…

あ…っ
提督っ!!

私っ、やっぱり
嬉しいっ…

あの時は本当に、
済まなかったっ…!!



いいんです、
もうっ…

あ…っ
あ…っ

あ…っ

あ…っ
あ…っ

あ…っ
あ…っ

あ…っ

あ…っ
あ…っ



あ…っ
あ…っ

あ…っ
あ…っ

あ…っ
あ…っ

あ…っ
あ…っ

あ…っ
あ…っ



愛したくなる...

優しいけど、
抑えこんでる
みたいにする

本気で
愛し合ってる、
解る...

私なんか、
いないみたい
に提督と、
鳳翔さんが



私も何度も
されたからっ...
良く、知ってる

提督、
もうっ...

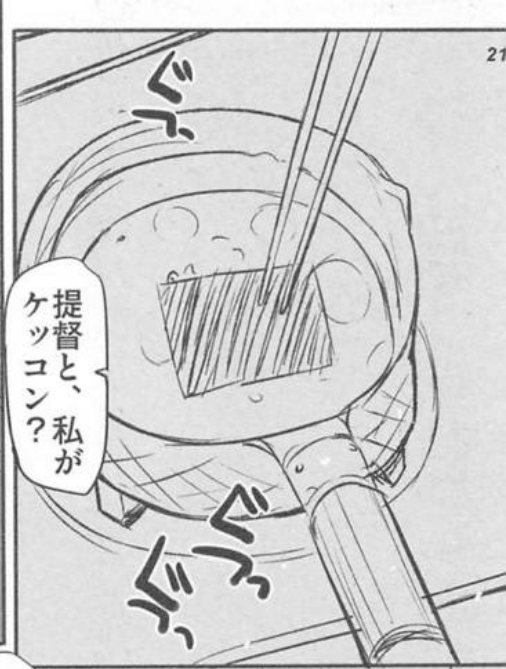
素敵ですっ...



前に見た時
みたいにく
すドキドキ...!

だからっ...
私が、凄く惨めで

やっぱり、言っ
て正解だった...



どうですか？

別に一人……と
決められてる
ワケじゃないので

提督と、私が
ケツコン？



それをして、
アナタに何の
利があるの……？

一だから、
一緒に……

鳳翔さんの事
やっぱり心配
してるみたいです

それに、
提督



私じゃできない、
お願いしたい事が
あるんです

勿論、あります



ドアの隙間から
見の時、まっ
あたいに……

提督っ……
動き早く
なってる

射精しちゃった



提督と鳳翔さんが
愛し合ってる所
見せて下さい……



根元までっ
鳳翔さんの
オ○ンコの奥に
突き込んで

注ぎ込むのっ……



私は……提督が
やっぱり一番
好きなんだって……
思える……



あ……っ！
す……っ！
いつもなら……
私の……なのに……
それがっ
悔しくて

鳳翔っ……

暗い気持ちっ
なってる……
その事でやっっ



瑞鳳っ…

提督…
みてっ…

提督と鳳翔さんが
シてるの見てる
だけで…

オマ○コ…
こんな
濡れちゃったの

瑞鳳は…
こんなので、
興奮する悪い子
なのっ…!!



私、本当に最低の
女の子なのっ…

それでもっ、
お願いだから…

そほっしゅっしゅっ…



瑞鳳っ……!

提督がっ……
いつもより
乱暴で

こんなの
はじめて……



お前はっ……
なんて悪い子だっ!

鳳翔まで
巻き込んでっ……

自分が……
気持ちよく
なる為にっ!

そっ……
なのっ!

そっじゃないと、
もう...自分か
耐えられないっ



きつと私は一生、
ここ数週間の事を
言い出せない



ダメな女って
言いつつ...!
欲しいっ...!

だから代わりって
この事を...私



まだまだっ...



ああっ……

凄く
キツいっ!

キツ

キツ

キツ

キツ

キツ

キツ



嬉しいよあつ……

こんな私でも、
提督はまだ
欲しがって
くれる……!

キツ

キツ

キツ

アハハハ

アハハハ

アハハハ



まだっ……
激しくなるのっ……

アハハハ

キツ

キツ

キツ

キツ

キツ

キツ

キツ

キツ



て、提督っ

どうした?

キツ

キツ

キツ



そうん……
……ありがとう……

謝る事なんて
何もないだろ……!



ごめん……ね

瑞鳳?



やっぱり私、
最低だ……

私の事
ちやんと信じて



おは……



愛し合ってる人に
愛を注いでるだけで

瑞鳳、
もうっ……!

それだけで
もつと気持ちよくて
ソクソクするっ……!

おは……



それでも
それが...

はっ

アッアッ

アッアッ

♡

アッアッ

アッアッ...

アッアッ

最高なのっ...

アッアッ

アッアッ

アッアッ



っ.....!!
吸い込まれてっ!!

アッアッ

アッアッ

アッアッ

アッアッ

アッアッ

アッアッ



もう、無理だっ……

は……

提督、頑張りましたね……

あはっ……今までで、一番よかったかも……

それは……どうも……



お、おっぱりここに

……はあ



手紙一枚で済ますなんて、鳳翔も薄情な奴やな

……合わす顔が無いのさ

や、これにお前さんに

まさか、上手く行き過ぎて失敗するとはね……

それでお前は どうしたんだ？



ああ……ウチは鎮守府 辞めてきた 代わりとしては 鳳翔が いれば 十分やろ

アンタに暫く ついて行くわ



……提督にか

アンタは クズだけど…… 慰められた後には、 本当だし？



……本気か？

モチのロンや



ま、告るまでもなくくつついちやったのがなあ…

そういう事、か

あ……

そっちじゃなくて瑞鳳の方



気付いて無かったんか



ま、最後に八つ当たりとちよつとした役得って感じなんかな？

思ったより悪い子だな、君は……

アンタも、づほに稼がせたんやろ？

まあ、多少は……

……それが一縮に居ようや



——それはどうかかな？

噂にはなってるだろうが……皆、聞いてくれ



結局、元の鞘に落ち着いた……

あっちは……



今日から
龍驤の代わりに
鎮守府に入った
鳳翔だ

自分とは
旧知の仲だ

皆、宜しく頼む



えっ…

それで、鳳翔には
瑞鳳と交代で秘書艦を
やってもらおう



うん…
もういいの

…今まで絶対に
させなかったじゃん

ねえ…
その…瑞鳳は
いいの？
秘書艦、
代わったりとか

私、ちゃんと
愛されてるって
解ったから

そう……なの？

もう、大丈夫

——龍驤、君も
言っただろう？

ん？

それに、
鳳翔さんと
二人でなら

きっと、もっと
楽しくなるわよ……っ

結局……
壊れたものは
壊れっぱなしさ

INST
ADULT ONLY

TITLE : ZUIHOU COMP.
CIRCLE : INST
AUTHOR : Interstellar
DATE : 18/08/13
PRINT : Ueno Printing Co., Ltd
WEB : <http://instovdr.sakura.ne.jp/>
MAIL : instovdr@hotmail.com